

財団法人 言語教育振興財団 助成研究（平成 17 年度）

英語学習意欲を促進する要因（2）

— 意識調査の因子分析と項目分析 —

共同研究委員会英語小委員会

財団法人 言語教育振興財団 助成研究（平成17年度）

英語学習意欲を促進する要因（2）

－ 学習者の意識調査とその考察－

共同研究委員会英語小委員会

●はしがき

本報告書は言語教育振興財団の平成 17 年度の助成金研究事業である共同研究の一部であります。

本財団の活動の一端を担っている共同研究委員会は、国語、英語、日本語の各小委員会で構成されております。このうち、本英語小委員会では、「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を克服するための指導法の開発」という大きな目標に向けて調査研究を重ね、平成 12 年 7 月に、「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を克服するための指導法の開発に向けて一学習者の意識調査とその考察一」という報告書を発行いたしました。

その報告書作成の過程で、私たちは阻害要因の探求の裏にある促進要因を明確にする必要を感じました。そこでさらに調査研究を重ね、平成 17 年 12 月には、学習意欲を促進する要因分析の報告書「英語学習意欲を促進する考察—学習者の意識調査とその考察一」を発行しました。

本報告書は英語学習意欲促進に関する報告書を作成するために御協力いただいた合計 3,155 人（中学 859、高校 1,070、大学 1,226）分のデータを対象に、上記の報告書の続篇として因子分析と項目分析を行いました。報告書のタイトルは「英語学習意欲を促進する要因（2）—意識調査の因子分析と項目分析一」としました。

因子分析では、本アンケートの質問項目が 6 つの因子によって構成されていることが明らかになりました。それは、1. 肯定的体験、2. 否定的体験、3. 外国文化・外国人との接触体験、5. 授業での不安感、6. 受験のための英語学習の 6 因子であります。

また、促進要因と阻害要因についてそれぞれ 10 項目ずつしおり、分析と考察を行い、促進要因については 6 類型の下位分類に、阻害要因については 4 類型の下位分類に分けてみました。

それらの分類をふまえて、教室で実際に授業を行うときにはどのようなことに注意して授業を進めたらよいのかということに関して、いくつかの提言をさせていただきました。

なお、本報告書の「第一章 目的」につきましては、前報告書と同じデータを基にしているため、前報告書の「第 1 部 本調査の概要」を一部手直し、「6. 本報告書の目的」を加えて掲載しました。最後になりますが、その調査の基礎となるアンケートにご協力いただいた方々にあつく御礼申し上げます。

本報告書が前報告書とともに、今後の日本の英語教育の一助となれば、これに勝る喜びはありません。

平成 18 年 11 月
共同研究委員会英語小委員会代表 小池 生夫

目 次

はしがき	i
第一章 目的	1
1. 共同研究の経緯	2
2. 研究テーマ	2
3. 調査方法	3
4. 調査実施の方法	5
5. データの処理について	5
6. 本報告書の目的	6
7. 調査依頼先	6
第二章 因子分析	9
1. 質問項目からの因子抽出	10
(1) アンケート作成の手順	
(2) 因子分析の結果	
2. 質問項目と各因子の関連	18
第三章 項目分析	29
1. アンケート回答者像	30
2. アンケートに見られる促進要因と阻害要因	32
(1) 促進要因について	35
(2) 促進要因のまとめ	44
(3) 阻害要因について	47
(4) 阻害要因のまとめ	56
第四章 授業者への提言	59
資料	65
1. 英語学習促進要因アンケート用紙	66
2. 校種別英語学習意欲促進要因・阻害要因のグラフ	76
あとがき	108

第一章

目的

1. 共同研究の経緯

本研究は平成 12~16 年度の言語教育振興財団（光村図書）の助成金研究事業である共同研究の一部である。この共同研究は国語小委員会、日本語小委員会、英語小委員会と財団委員で構成された共同研究委員会でおこなわれた。この冊子は英語小委員会の研究をまとめたものである。

平成 8 年から行われた本委員会の研究テーマを「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を克服するための指導法の開発」とした。そして生徒・学生のコミュニケーションに関する意識や態度の実態を把握するためのアンケートを実施して分析したものと、平成 12 年 7 月に「『コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を克服するための指導法の開発』にむけて一学習者の意識調査とその考察」という報告書を作成した。

そして今回の本研究は前回の報告書で扱った阻害要因からさらに踏み込んだ内容とするために、学習意欲の促進要因を明らかにしようという意図のもとに行われた。

また、平成 8 年度から 4 名で行っていた英語小委員会の研究内容を充実させるために、平成 15 年度より中学校は平出敏、高等学校は佐藤留美、大学は倉住修の 3 名を新たに加え、英語小委員会は 7 人の構成メンバーで研究を続けてきた。

2. 研究テーマ

本研究は日本の英語教育において、どのような教授法が日本の現状と日本人の特質にあったものであるかを提言することである。阻害要因をできるだけ少なくし、促進要因をできるだけ多く取り入れた教授法を考えるために、阻害要因と促進要因の両方の研究が必要である。

そのためこれまでにコミュニケーション能力の育成を阻害する要因についての調査を行った。その阻害要因を調べていくうちに、英語学習の促進要因となるだろうと思われる項目が出てきたので、それが促進要因として特定されるか、また他にどのような促進要因が考えられるかを調査してみることが必要となってきた。

それらの要因の中には、学習者本人の問題、また学習者を取り巻く環境の問題、教員の問題、扱う教材やそのレベルなどの問題と多岐にわたる。また、阻

害要因の研究をしてみて、男女の性差による問題や、学校段階による問題点などが明らかになった。これらは現場で実際に先生方が英語を教えられているときに漠然と感じていることであろうが、それがはっきりといえることなのかどうかを数値化し、考察をすることも今回の研究の目的の1つである。そのため、アンケート項目はできるだけ具体的なものになるように心掛けた。

3. 調査方法

(1) 英語小委員会の構成

本小委員会は、平成15年度より平出、佐藤、倉住が加わり、次のメンバーによって構成されている。

代表	小池 生夫	(明海大学教授)
委 員	醍醐 路子	(目黒区立第八中学校副校長)
	平出 敏	(西東京市田無第四中学校教諭)
	志村 修司	(東京都立小平高等学校主幹)
	佐藤 留美	(東京都立国際高等学校教諭)
	高本 裕迅	(白百合女子大学教授)
	倉住 修	(白百合女子大学講師)
研究協力者	石井 友子	(武蔵工業大学非常勤講師)

(平成17年7月現在)

(2) 調査用紙の内容および構成

この実態調査は、予備調査から本調査へと段階的に実施された。予備調査は回答者数を中学・高校・大学それぞれ学校段階について50名程度行い、主に調査内容の妥当性を図るために行われた。その結果に基づき、本調査での質問項目の修正や選択肢の変更などを行った。

本調査の質問用紙は、英語学習意欲を促進させる要因を解明するという本研究のテーマから大まかに二つの部分からなる構成とした。まず前半部分は、回答者の英語学習についての情報を全般的に得るためにAからI-3に渡る項目とMの項目を用意した。質問への回答法は、問題の内容により、単一選択、複数選択とした。これによって、英語学習を始めた時期、好きになった時期、英語学習に充てる時間などについての情報を収集した。後半部分の項目は教室内外で

起こる状況が学習意欲の促進にどう影響を及ぼすかを聞いたもので、KとLの41項目で構成されている。この内、Kが授業内で、Lが授業外で起こる状況を表したものである。これらに対しては、回答を「まったくやる気をなくした」、「少しやる気をなくした」、「特になにも感じなかった」、「少し英語を勉強する気になった」、「ものすごく英語を勉強する気になった」の5つの選択肢から1つを選ぶ、5件法のリカート尺度を使用した。これは回答をしやすくし、さらに後の項目間の相関がどのくらいあるかを統計的に検討することを容易にするためである。

1) 所属・学年・性別	(3問) (A～C)
2) 学習者の英語環境について	(8問) (D～H, I1～I3)
3) 英語の授業について	(19問) (K1～K19))
4) 自分の英語について	(15問) (K20～K34)
5) 学校以外の英語関することについて	(7問) (L1～L7)
6) 授業以外の英語の勉強法	(1問) (M)

- 1) は回答者の所属、学年、性別について尋ねた。
- 2) は学習者を取り巻く英語に関する環境について尋ねることにより、学習者を取り巻く環境の中に因子となるようなものがあるのかどうかを解明しようとした。例えば、初めて英語にふれた時期が学習意欲促進と関係があるのか、英語が上手な人から刺激を受けるなどしているのか、また英語の必要性をどの位感じているのか、英語が好きになったきっかけなども尋ねた。さらに、授業中だけの教授法の改善だけで学習者の英語力を向上させることができるのかという問題もあり、学習者が学校以外でどのくらい英語を勉強しているかも調べてみた。
- 3) 授業中のどのような要素が学習意欲を促進させるのか、また、減退させるのかを調べてみた。授業中のどのような学習活動、どのような授業内容、そして先生のどのような言動が学習意欲を促進させるのかを調べた。授業中の成功体験が学習意欲を促進させるであろうことはある程度予測されるが、失敗体験は学習者にどのように作用するかを具体的な学習活動等をあげて学習者に尋ねてみた。
- 4) 自分の英語について。何かができたとき、またはできなかつたことが学

習意欲促進にどのように作用するのかを調べるために、具体的な成功体験と失敗体験のアンケート項目を作った。テストの点数、四技能、単語の暗記、発音などに関するものである。

5) 授業以外の英語情報がどのように生徒の学習意欲の促進に関わっているのかを調べてみた。現在身の回りにはさまざまな英語に関する情報やメディアがある。映画や音楽、語学番組、外国人や外国旅行なども学習意欲促進にどの程度関わっているのか、また学習者はそれらをどのように利用しているのかを探ろうとした。それらを知ることにより、学習者の意欲を促進させるために教授者は有効な英語情報与えたり、メディアの活用を考えることができる。

6) 授業以外でどのように英語を勉強しているのかを、複数回答可の形で質問した。教室での授業時間は限られているので、学習意欲を促進して英語力をつけるためには、いかに学習者が授業以外で英語の学習を継続的続けていくかが大きな要因である。学習者の実態を知り、意外に利用されていないメディアの活用などを考える基礎データとしたかった。

4. 調査実施の方法

予備調査を平成15年8月に行い、その結果に基づいて修正された本調査は、同年11月から翌年の1月にかけて行われた。調査用紙はあらかじめ調査協力の了解を得ている各学校の教員あてに調査の趣意書とともに送られ、その教員によって行われた。

5. データの処理について

本研究の最大の特徴は、前回と同様に同じアンケート項目を中学校・高等学校・大学と3つの学校段階を通して、同時期に、それぞれ1000人規模で行った点である。

回答済みのアンケート用紙は、情報処理会社に入力を依頼し、そこでコンピューターによる入力処理が行われた。アンケート項目を作成する前にも入力方法や入力後の処理を考慮して情報処理会社と事前打ち合わせを行い、さらに入力後にも処理方法について打ち合わせを行った。

データ結果は、全体と中学校・高等学校・大学のグラフと、全体の男女別と

中学校・高等学校・大学の男女別のグラフで示し、考察を行った。無効回答の処理については、基本的には削除することにした。

なお、本文中のグラフにおいては、各項目のパーセントの合計が 0.1%位の過不足で 100%にならないところもあるが、これは小数点第 2 位を四捨五入したために生じたものであることを予めお断りしておく。

6. 本報告書の目的

本報告書は、平成 17 年 12 月に発行した「英語学習意欲を促進する要因－学習者の意識調査とその考察－」からさらに分析を重ね、より正確に学習意欲の促進要因を把握しようという目的で作成されている。

上記の前報告書では、アンケートで聞かれた質問項目ごとにその結果をひとつひとつ記述していった。これによってどのような教員の指導や生徒の学習行動が学習意欲を促進するのかが詳細かつ具体的に見えてきた。しかし、これらはすべて記述データであり、項目同士の関連を測るなどしてマクロ的に促進要因を理解するには至っていない。

そこで、アンケート項目から因子分析により学習意欲の促進要因を抽出し、それらがどのように学習意欲に作用しているかを考察した。また、項目間で平均点を比較し何が学習意欲により強く影響を及ぼしているのかについても考察を行った。つまり、本報告書の分析では、アンケートを通じてどういった促進要因が測られたのかを見極め、それらがどのような働きを持つのかを調べたのである。

7. 調査依頼先

お忙しいところ本研究にご協力いただいた学校と先生方は以下のとおりである。ここに深く感謝の意を表する。（先生方の勤務校は調査を依頼・実施した平成 15 年 11 月時点のものである。）（順不同、敬称略）

中学校

大田区立貝塚中学校	(醍醐 忠男)
渋谷区立代々木中学校	(岡崎 伸一)
杉並区立神明中学校	(石川 史子)

杉並区立井荻中学校	(春日 陽子)
杉並区立向陽中学校	(斎藤 進)
杉並区立東田中学校	(橋本 剛)
世田谷区立希望が丘中学校	(二宮 正男)
国分寺市立国分寺第二中学校	(重松 靖)
目黒区立第十中学校	(醍醐 路子、米澤登志子)
西東京市立田無第四中学校	(平出 敏)

高等学校

岡山県立城東高等学校	(小山 敬一)
神奈川県立座間高等学校	(五十嵐 雅美)
関東国際高等学校	(須賀谷 玲子)
高知県立高知西高等学校	(山田 憲昭)
常葉学園中・高等学校	(木宮 晓子)
東京都立西高等学校	(秦野 進一)
東京都立東大和南高等学校	(中島 和夫)
東京都立国際高等学校	(佐藤 留美)
宮城県立仙台第一高等学校	(今野 俊之)
明治学園中学高等学校	(井ノ森 高詩)

大学

秋田県立大学	(榎木薫 鉄也)
高崎経済大学	(森 聰美)
豊橋科学技術大学	(加藤 三保子)
東京外国語大学	(吉富 朝子)
東北工業大学	(佐藤 夏子)
中京大学	(吉川 寛)
法政大学	(寺内 正典)
宮崎産業経営大学	(徳地 慎二)
明海大学	(小池 生夫)
白百合女子大学	(高本 裕迅、倉住 修)

第二章

因子分析

1. 質問項目からの要因抽出

(1) アンケート作成の手順

本調査で使用したアンケートは二つの部分から構成されている。一つ目は、「回答者についての情報」の項目で、A から I-3 に渡る項目と M の項目がそれにあたる。これによって、回答者の性別、所属に始まり、英語学習を始めた時期、好きになった時期、英語学習に充てる時間など英語学習の実態についての情報を収集した。もう一つは、「教室内外での英語学習の体験が学習意欲の促進にどう影響を及ぼすか」を聞いたもので、K と L の 41 項目で構成されている。この内、K が授業内で、L が授業外で起こる状況を表したものである。その質問項目を大まかに分類すると以下のようになる。

- ・英語の 4 技能のパフォーマンスの成否
- ・教員の態度
- ・授業の雰囲気
- ・授業内外の学習状況

質問項目を選定する際には、様々な学習状況を網羅することに留意した。例えば、「英語で言いたいことがうまく言えたとき」というスピーチングの成功体験について問えば、他のリスニング、リーディング、ライティングの成功体験についても同様のことを質問した。同様に成功体験を問う場合（「テストでいい点がとれたとき」など）、必ずそれに対立する失敗体験（「テストで悪い点をとったとき」など）も用意した。

質問項目は本調査委員がそれぞれの英語教育の現場での経験をもとに考えて選定した。この調査アンケートの中にどのような学習意欲の促進要因が含まれていたかを抽出するために、収集したデータを因子分析にかけた。なお以下に使う「因子」という用語と「要因」という語は本文中では同一のものを指すこととする。

(2) 因子分析の結果

本アンケートから学習促進要因を抽出するために、K と L の 41 項目に対する回答に因子分析をかけその要因を抽出した（表 1：バリマックス回転法により、7 回転で収束）。

表1 因子分析の結果

	成分					
	1	2	3	4	5	6
K1	0.693	0.067	0.011	0.097	0.124	0.049
K2	0.108	0.639	-0.013	0.065	0.272	0.047
K3	0.695	0.072	-0.059	0.115	0.096	-0.026
K4	0.136	0.695	-0.026	0.020	0.321	-0.095
K5	0.710	0.079	0.064	0.129	0.049	-0.087
K6	0.111	0.740	-0.004	0.020	0.240	-0.106
K7	0.657	0.076	0.107	0.166	0.073	-0.150
K8	0.203	0.183	0.031	0.208	0.605	0.173
K9	0.300	0.142	0.052	0.719	0.153	0.035
K10	0.613	0.197	0.147	0.318	0.119	-0.089
K11	0.224	0.151	0.043	0.743	0.108	0.161
K12	0.712	0.064	0.045	0.196	0.139	-0.031
K13	-0.003	0.544	0.006	-0.008	0.513	0.003
K14	0.068	0.340	0.129	0.115	0.607	0.125
K15	0.643	0.077	0.147	0.106	0.072	-0.153
K16	0.461	0.231	0.366	0.170	0.005	-0.241
K17	0.556	0.159	0.369	0.081	0.094	-0.247
K18	0.153	0.121	0.005	0.097	0.249	0.705
K19	0.531	0.187	0.253	0.012	0.168	0.096
K20	0.688	-0.043	-0.026	0.024	0.081	0.258
K21	0.061	0.673	0.046	-0.012	0.230	0.072
K22	0.683	0.055	-0.008	-0.033	0.117	0.329
K23	0.008	0.730	-0.026	0.059	0.207	0.158
K24	0.752	0.069	0.156	-0.038	-0.038	0.169
K25	0.028	0.806	0.066	0.058	0.008	0.122
K26	0.770	0.070	0.201	0.017	-0.089	0.079
K27	0.069	0.828	0.122	0.113	-0.049	0.054
K28	0.763	0.056	0.171	-0.014	-0.058	0.155
K29	0.082	0.842	0.106	0.087	-0.021	0.059
K30	0.793	0.074	0.145	0.000	-0.083	0.081
K31	0.122	0.823	0.143	0.100	-0.069	0.024
K32	0.008	0.347	-0.016	0.422	0.003	0.541
K33	0.666	0.136	0.198	0.209	-0.030	0.002
K34	0.166	0.739	0.120	0.170	-0.077	0.019
L1	0.344	0.164	0.781	0.024	0.047	-0.017
L2	0.283	0.089	0.786	-0.002	0.041	0.060
L3	0.325	0.234	0.378	0.282	0.086	-0.021
L4	0.673	0.122	0.396	0.039	0.027	-0.026
L5	0.209	0.671	0.304	0.067	-0.002	-0.022

因子抽出法: 主成分分析

表1によると本アンケートの質問項目は6つの因子によって構成されている。その6つの因子とは以下のものである。

1. 肯定的体験 (positive experiences)
2. 否定的体験 (negative experiences)
3. 外国文化・外国人との接触体験 (encounter to foreign cultures and people)
4. 機械的練習 (mechanical training)
5. 授業での不安感 (classroom anxiety)
6. 受験のための英語学習 (learning for examinations)

これらの因子を決定する手順は以下の通りである。まずそれぞれの因子に対する値が0.3以上を示した項目をその因子の形成に対して寄与率が高いとして拾っていく。次にそれらの項目に共通する性質を考え、それぞれの因子に対して適切な呼び名をつけた。例えば第1因子に対して0.3以上の値を示したものはK-1、K-3など計21項目であり、これらを第1因子を形成するものと認定する。そしてその21項目に共通する性質が「教室内外で起きた成功体験や精神的に学習をサポートしてくれるような体験」であると考え、それらを「肯定的体験」と名付けその因子の性質であるとした。

① 第1因子:肯定的体験

第1因子には以下の一覧表に示される21項目が含まれる。また、一番右の欄には、本調査の回答者から得られた5段階の回答の平均値が示されている。5に近いほど「英語学習をやる気になった」の回答が多いことを示し、その反対に1に近いほど「学習する気がなくなった」の回答が多いことを示している。また、中間値の3が「どちらともいえない」を示す。

番号	項目内容	平均値
K-1	授業で習ったことがよくわかったとき	4.07
K-3	授業中に質問され答えられたとき	3.68
K-5	英語でうまく発表(スキット、スピーチなど)ができたとき	3.47
K-7	授業が楽しいふんいきだったとき	3.91
K-9	授業でたくさん基本文の口頭練習をしたとき	3.13
K-10	授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	3.70
K-12	英語の先生にほめられたとき	3.95
K-15	おもしろい英語の先生に教わったとき	4.15

K-16	外国人の先生に教わったとき	3.80
K-17	英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	3.98
K-19	人生のためになる授業のとき	4.04
K-20	テストでいい点がとれたとき	4.08
K-22	文法(英語のしくみやルール)がわかるようになったとき	3.99
K-24	英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	4.06
K-26	英語を聴いて意味がわかったとき	4.03
K-28	英語で言いたいことがうまく書けたとき	4.00
K-30	英語で言いたいことがうまく言えたとき	3.98
K-33	英語の発音がうまくできたとき	3.72
L-1	外国の映画やドラマを見たとき	3.80
L-3	NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	3.45
L-4	外国人とうまく英語で話ができたとき	4.08

この中の大半は「授業中によいパフォーマンスができたとき」という肯定的結果が得られたことを表すものである。K-22、24、26、28、30、33 は 4 技能や文法、発音などといった英語の基礎スキルにおいてうまくできた、理解できたという成功体験を示している。したがって技能にかかわらず成功体験は学習意欲に働き掛けることがわかる。また、基礎スキルの成功体験だけにはとどまらず、K-1、3、5、20 など授業やテストで何らか成功した体験も同様の影響を持っている。さらに、K-7、12、15 などのように授業の雰囲気や教員の教え方などで精神的な支援を受けたときも成功体験と同様な反応を示すことにも注目したい。興味深いのは K-16 の「外国人の先生に教わったとき」が同一因子内に現れていることである。中高の生徒、大学生にとっては、外国人教員というだけで「おもしろい先生」であったり、「楽しい雰囲気の授業」などと同様に反応をすることがわかる。また L の項目に表れているように授業外での外国文化や外国人との接触も成功体験と同様の反応が見られる。

平均値を見ていくと、K-9 の 3.13 を除いてすべてが 3.45 から 4.15 の間にあり非常に高い数値を示している。このことからこの第一因子は学習意欲を大きく促進する要因となっていると認められる。

② 第 2 因子:否定的体験

この因子には、下の一覧表の 14 項目が含まれている。

番号	項目内容	平均値
K-2	授業で習ったことがよくわからなかったとき	2.89
K-4	授業中に質問され答えられなかつたとき	3.10
K-6	英語でうまく発表(スキット、スピーチなど)ができなかつたとき	3.01
K-13	英語の先生にしかられたとき	2.74
K-14	きびしい英語の先生に教わつたとき	2.96
K-21	テストで悪い点をとつたとき	3.34
K-23	文法(英語のしくみやルール)がわからなかつたとき	3.02
K-25	英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	3.03
K-27	英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	3.11
K-29	英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	3.17
K-31	英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき	3.26
K-32	英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	2.78
K-34	英語の発音がうまくできなかつたとき	3.19
L-5	外国人とうまく話ができなかつたとき	3.47

基本的に第1因子と対をなす項目群であり、「英語がうまくできなかつたとき」というような不成功体験を示すものである。第1因子と同様にK-23、25、27、29、31、34の4技能と文法、発音における不成功体験を示す項目がすべて表れており、技能にかかわらず不成功体験が学習意欲に影響を与えることがわかる。またK-2、4、6、21などの授業やテストでの不成功体験が第2因子に表れていることからも、第1因子と対の関係があると言える。さらにK-13、14の英語教員の教え方に関わる項目も不成功体験と同様にとらえられている。つまり、生徒をしかることやきびしい態度で接することは不成功体験と似た効果を生むと言えるのだ。これらの項目を概観すると不成功体験を中心として精神的に落ち込むような否定的な体験とまとめることができる。

この中で注目せざるを得ないのがK-32「英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき」が否定的体験の因子に含まれることである。学習者が「単語を覚えなければならぬ」ということを否定的にとらえ、おそらく苦痛に感じているであろうことは興味深い。

注意しなければならないことだが、学習意欲に関して否定的体験が1つの因子になっているからと言って、それが学習意欲を阻害するという意味ではない。

「失敗をバネにしてがんばる」ということもあり得る。実際に平均値を見てみると、ほとんどは3.00付近に集まっている。したがって学習意欲を促進される者もいれば、阻害される者もいるということである。否定的体験をして励みにする者もいれば、落ち込んでやる気をなくす者もいるようである。

③ 第3因子：外国文化・外国人との接触体験

第3因子には7項目が含まれ、L-3を除きすべて外国文化、外国人に関わる項目である。

番号	項目内容	平均値
K-16	外国人の先生に教わったとき	3.80
K-17	英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	3.98
L-1	外国の映画やドラマを見たとき	3.80
L-2	外国の音楽を聴いたとき	3.86
L-3	NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	3.45
L-4	外国人とうまく英語で話ができたとき	4.08
L-5	外国人とうまく話ができなかつたとき	3.47

授業内外で外国人や外国の文化と接したときの体験が共通した性質である。L-3「NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき」だけは特に外国文化や外国人というキーワードを含んでいない。しかし、学校の授業外での英語との接触体験という面で、ある種の異文化体験の感覚を学習者に与えており、そのため第3因子に含まれたのだと考えられる。

平均値を見るとどれも3.5付近から4以上とどれも高い。したがってこの因子は学習を促進する効果を持つと思われる。

④ 第4因子:機械的練習

第4因子には以下の4項目が含まれる。

番号	項目内容	平均値
K-9	授業でたくさん基本文の口頭練習をしたとき	3.13
K-10	授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	3.70
K-11	授業でたくさん暗唱をしたとき	3.11
K-32	英語の単語をたくさん覚えなければならないとき	2.78

これらは基礎練習、反復練習という比較的単調で機械的な学習作業を表している。特にK-9、11は11ページの表1に見られる因子形成の寄与率の値が0.7を越えておりこの因子の形成に大きな関わりを持っている。この中でK-10は必ずしも「単調な機械的練習」を指しているのではないかかもしれない。同じく表1の寄与率の値も0.3強というものでこの因子の中では関連が緩やかである。「授業の中で英語をたくさん使う」という行動が回答者の中でどういうイメージでとらえられていたのかをさらに探っていく必要がありそうだ。

平均値を見ると項目によって様々であるが、K-10を除いて3.0付近である。あまり強い促進要因とは言えず、個人差の面が強い要因であろう。

⑤ 第5因子:授業での不安感

第5因子には以下の4項目が含まれる。

番号	項目内容	平均値
K-4	授業中に質問され答えられなかつたとき	3.10
K-8	授業に緊張感があるとき	3.32
K-13	英語の先生にしかられたとき	2.74
K-14	きびしい英語の先生に教わったとき	2.96

どの項目も授業中に精神的な緊張感、あるいは不安な精神状態を引き起こす状況を含んでいるため、この因子を「授業での不安感」と名付けた。第二言語習得の研究でも classroom anxiety や language anxiety が多くの研究者、特に動機付けの研究者によって学習動機に影響を与える要因としてとりあげられてきた。本調査でもこれが学習意欲に影響を与える一つの因子として浮かんできたこと

は、日本の英語学習者にとっても不安感が重要な要因になりうることを示している。

また、平均値を見ていくとやはり 3.0 付近の項目が多く、強い促進要因とも阻害要因とも言えない。ただし、3.0 より低いものが 2 項目もあり阻害の要素も持っている。反面 K-8 の 3.32 ように促進効果もあることがわかる。全体としては不安感によって学習意欲を促進させるかどうかは個人によるところが大きいようである。

⑥ 第 6 因子:受験のための英語学習

最後の因子には 3 項目が含まれる。

番号	項目内容	平均値
K-8	受験のためになる授業のとき	3.32
K-22	文法(英語のしくみやルール)がわかるようになったとき	3.99
K-32	英語の単語をたくさん覚えなければならないとき	2.78

K-18 には「受験のためになる授業」という言葉が直接出ているが、これと文法、英単語の二つが関連していることが興味深い。この二つの学習作業は典型的な受験対策としての学習であるというとらえ方がされている可能性を示している。平均値を見ると K-32 のようにどちらかというと学習意欲を失わせるものもあるが、それほど大きくない。

以上の因子分析の結果から今回のアンケートでどういった要因が含まれているのかが明らかになった。以下では、ここで示された 6 つの因子、つまり要因がどのように学習意欲に影響を与えているのかを具体的に見ていく。

2. 質問項目と各因子の関連

ここでは、先に示した英語学習意欲を構成する 6 因子を中心に、それらが他の項目とどう関連を持っているのかを見ていく。

まず、アンケートの中で尋ねた項目により様々なグループに分け、グループ間で 6 因子に対する反応に差があるのかどうかを検証する。この報告書の中で分析対象とする項目は以下のようである。なお、括弧内はどのようなグループに分割したかを示している。

- A. 所属（中学生・高校生・大学生）
- C. 性別（男・女）
- F. 自分のまわりに英語がじょうずな人がいますか。（いる・いない）
- G. 家で一週間にどのくらい英語を勉強しますか。（よくする・あまりしない）
- H. あなたにとって英語は必要だと思いますか。（必要・不必要）
- I1. 英語は好きですか。（好き・きらい）

この内、項目 H と I1 については、他の項目（A、C、F、G）との関連も見ていくことにしたい。したがって、以下の表の一番左の列に示される項目を要因として、それが H、I1 および 6 因子に対してどのような関連を持っているかを報告していく。

項目 B、D、E、I2、I3、M については、いくつかの理由で今回の分析対象とはしなかった。B、I2、I3 は主に被験者全体から一貫した回答が得られにくい項目で妥当なグループ分けが困難と判断したことが理由となっている。また、項目 M は複数回答というデータの形式からグループ分けが困難であることから分析対象から外した。D、E の項目、すなわち「英語に初めて触れた年齢および英語を継続的に学習し始めた年齢」についても本報告書の分析対象から外した。この 2 項目はすでにいくつかの観点から分析済みであるが、「小学校英語活動」や早期英語教育について非常に多くの示唆に富んだ結果が得られた。次回の報告書であらためてこれに関するトピックを中心にして、十分な分析と考察を行いたいと思っている。

A. 所属（中学生・高校生・大学生）

中学生、高校生、大学生の3グループ間の違いを見るために、H「英語の必要性」、I1「英語は好きか」および6因子に対する3つグループの回答の平均値を比較した。このため1-way ANOVAを適用し、以下の表のような結果を得た。

変数		自由度	F 値
必要性	グループ間	2	54.58(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	
好きか	グループ間	2	21.79(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	
POSITIVE	グループ間	2	73.08(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	
NEGATIVE	グループ間	2	8.13(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	
CULTURAL	グループ間	2	101.44(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	
TRAINING	グループ間	2	12.87(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	
ANXIETY	グループ間	2	12.45(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	
EXAM	グループ間	2	17.62(**)
	グループ内	3152	
	合計	3154	

* p < .05

(N=3155)

** p < .01

ANOVA は 3 つ以上のグループが異なる特徴を持っているかどうかを検証するために使われる統計テストである。計算された F の値によってグループの平均値の差が統計的に有意であると認められる場合、これらのグループは違った特徴を持つとされる。さらに上の表では、*一つが 5% 域で有意差があることを示し、**は 1% 域でも有意差が見られたことを示している。

上の表に見られる通り、「必要性」「好きか」そして 6 つの因子すべてにおいて 1% 域で有意差が見られた。つまり中学生、高校生、大学生の間で意識にかなりはつきりとした違いが見られる。さらにどのグループとどのグループに差があつて有意差が出たのかを詳しく見た(Tukey を使用) のが下の表である。

変数	(I) A	(J) A	平均値の差 (I-J)
必要性	中学生	高校生	-.38(*)
		大学生	-.39(*)
	高校生	中学生	.38(*)
		大学生	-0.01
	大学生	中学生	.39(*)
		高校生	0.01
好きか	中学生	高校生	-.34(*)
		大学生	-.20(*)
	高校生	中学生	.34(*)
		大学生	.14(*)
	大学生	中学生	.20(*)
		高校生	-.14(*)
POSITIVE	中学生	高校生	-4.83(*)
		大学生	-6.42(*)
	高校生	中学生	4.83(*)
		大学生	-1.60(*)
	大学生	中学生	6.42(*)
		高校生	1.60(*)
NEGATIVE	中学生	高校生	-1.12
		大学生	-2.09(*)
	高校生	中学生	1.12
		大学生	-0.97

	大学生	中学生	2.09(*)
		高校生	0.97
CULTURAL	中学生	高校生	-2.61(*)
		大学生	-3.53(*)
	高校生	中学生	2.61(*)
		大学生	-.92(*)
	大学生	中学生	3.53(*)
		高校生	.92(*)
TRAINING	中学生	高校生	.61(*)
		大学生	.59(*)
	高校生	中学生	-.61(*)
		大学生	-0.02
	大学生	中学生	-.59(*)
		高校生	0.02
ANXIETY	中学生	高校生	-.55(*)
		大学生	-.72(*)
	高校生	中学生	.55(*)
		大学生	-0.17
	大学生	中学生	.72(*)
		高校生	0.17
EXAM	中学生	高校生	.43(*)
		大学生	.58(*)
	高校生	中学生	-.43(*)
		大学生	0.15
	大学生	中学生	-.58(*)
		高校生	-0.15

* p < .05

まず、英語の「必要性」の認識に注目してみると、ここでは中学生と他の 2 グループの間に差が見られ、高校生と大学生の間では差がない。「必要性」の認識については、中学生は高校生・大学生に比べて未発達だと言える。

次に英語が「好きか」の差に関してみると、中学生、高校生、大学生のすべ

てのグループの間で差が生じていることがわかる。好きと答えた者が多かった順に、高校生、大学生、中学生となっている。

続いて 6 因子の影響を見てみよう。まず「肯定的体験」を見ると、ここでも中学生、高校生、大学生のすべての間で差が生じている。これらの体験に触発されて学習をやる気になる順は、大学生、高校生、中学生となっている。

次に「否定的体験」は、中学生と大学生の間にだけ有意差が見られる。大学生の方が否定的体験からやる気になると答えている。

「外国文化・外国人との接触体験」の結果は「肯定的体験」と似た傾向を示した。3つの間にはどれも有意差があり、やる気になる順は、大学生、高校生、中学生であった。

「機械的練習」は他の因子とは違った傾向を示している。ここでは、中学生が高校生・大学生のいずれよりもやる気になっているのが目立つ。それに対して高校生と大学生の間に差は見られない。この結果は前報告書の「第三部 データ分析・考察」で述べた中学生の特徴を統計的に裏付けるものだ。

「授業での不安感」を感じたときには、大学生が中学生・高校生のいずれよりもやる気になるようだ。また中学生と高校生の間に差は見られない。不安な精神状態をうまくコントロールし、学習をする意欲に結びつけるのはそれなりの精神的な成熟を必要とするのかもしれない。

最後に「受験のための英語学習」を見てみる。傾向は「機械的練習」と似ており、中学生のやる気の高さが目立つ。中学生が高校生・大学生のいずれよりもやる気になっているが、高校生と大学生の間に差は見られていない。

全体的に見ると、中学生が他のグループと比べて平均値が低いのが目立つが、逆に、機械的練習や受験のための学習からは中学生の方がやる気を高めているという逆転現象が生じている。

C. 性別（男・女）

男子と女子の2グループ間の平均値の差を見るため、t検定を適用し下の表のような結果を得た。また中学、高校、大学それぞれで男女差が見られるかどうかについても併せて検証した。全体ではすべてにおいて男女差が見られるが、中学生、高校生ではいくつかの因子で男女差が見られない（有意差がなかったものはn.s.と示してある）。

（全体）

	t 値	自由度
必要性	9.16(**)	3153
好きか	15.50(**)	3153
POSITIVE	19.75(**)	3153
NEGATIVE	7.78(**)	3153
CULTURAL	17.88(**)	3153
TRAINING	9.25(**)	3153
ANXIETY	5.09(**)	3153
EXAM	6.48(**)	3153

* p < .05 (N=3155)

** p < .01

（中学）

	t 値	自由度
必要性	2.84(**)	857
好きか	3.93(**)	857
POSITIVE	5.05(**)	857
NEGATIVE	1.80(n.s.)	857
CULTURAL	4.37(**)	857
TRAINING	3.38(**)	857
ANXIETY	-0.34(n.s.)	857
EXAM	3.09(**)	857

* p < .05 (N=859)

** p < .01

(高校)

	t 値	自由度
必要性	4.01(**)	1068
好きか	5.67(**)	1068
POSITIVE	10.13(**)	1068
NEGATIVE	2.87(**)	1068
CULTURAL	8.92(**)	1068
TRAINING	5.38(**)	1068
ANXIETY	1.48(n.s.)	1068
EXAM	3.17(**)	1068

* p < .05

(N=1070)

** p < .01

(大学)

	t 値	自由度
必要性	7.79(**)	1224
好きか	15.95(**)	1224
POSITIVE	18.64(**)	1224
NEGATIVE	8.21(**)	1224
CULTURAL	17.41(**)	1224
TRAINING	8.13(**)	1224
ANXIETY	6.43(**)	1224
EXAM	5.66(**)	1224

* p < .05

(N=1226)

** p < .01

まず、英語の「必要性」の意識を見てみると、女子の方が著しく高いことがわかる。この傾向は、中学生、高校生、大学生のいずれでも確認される。また、英語が「好きか」の男女差を見ると、女子の方が男子よりもずっと英語好きで

あることがわかる。

それでは、6因子ではどうだろうか。全体では、すべての因子において有意差があり、女子の方がこれらの要因に触発されて英語学習のやる気を起こしやすいと言える。中学生、高校生、大学生でも同傾向を示している。例外的に、男女差が見られなかったのは、中学生において「否定的体験」と「授業での不安感」の2因子、高校生において「授業での不安感」である。これらは精神的な圧迫をある程度受けるものであり、そういった体験・感情を学習意欲に転化させていくという作業は、精神的な成熟を必要とするのかもしれない。男子の方がやる気になる因子は、全体でも中学、高校、大学それぞれでもただの一つもなかった。

F. 自分のまわりに英語がじょうずな人がいますか。（いる・いない）

自分のまわりに英語がじょうずな人がいる者といない者の間に差があるのかを見た。「いる・いない」の 2 グループ間の平均値の差を見るため、ここでも t 検定を適用し、下の表のような結果を得た。

	t 値	自由度
必要性	7.46(**)	3153
好きか	10.27(**)	3153
POSITIVE	9.69(**)	3153
NEGATIVE	6.03(**)	3153
CULTURAL	9.82(**)	3153
TRAINING	5.99(**)	3153
ANXIETY	3.30(**)	3153
EXAM	4.82(**)	3153

* p < .05

(N=3155)

** p < .01

すべてにおいて周囲に英語のじょうずな人がいる者の方が有意に高い数値を示した。英語の必要性、英語が好きだという気持ちにおいても「いる者」の方が「いない者」よりも高い意識を持っている。また 6 つの因子についても「いる者」の方がそれらに学習する気を触発されていることがわかる。このように自分の身近に英語の能力が高い人がいると、その人から英語や英語学習に対して刺激を得られるのではないかと思われる。

G. 家で一週間にどのくらい英語を勉強しますか。（よくする・あまりしない）

G の質問は複数の選択肢からひとつに回答する形式のものだが、時間数から考えて、あまり勉強をしていないと思われる選択肢に○をつけた者と比較的勉強をしていると思われる選択肢に○をつけた者の二つのグループに分類した。まず、「あまり勉強をしていない者」を一週間の英語の学習時間が「2時間未満」とした。これは一日平均にして 20 分未満のものということだ。それに対して「よく勉強をしている者」は一週間「4時間以上」とした。また「2時間以上4時間未満」はどちらのグループにも入れず分析の対象からは除外した。これは、回答した者の実態が 2 時間に近い者なのか 4 時間に近い者なのかの区別ができるず、全体の分析に誤差を生じさせる原因となると判断したからだ。結果は下の表のようになった。

	t 値	自由度
必要性	9.98(**)	2587
好きか	14.22(**)	2587
POSITIVE	12.60(**)	2587
NEGATIVE	10.17(**)	2587
CULTURAL	10.91(**)	2587
TRAINING	7.95(**)	2587
ANXIETY	9.44(**)	2587
EXAM	9.48(**)	2587

* p < .05

(N=2589)

** p < .01

ここでもすべてにおいて学習時間の多いグループの方が少ないグループに比べて平均値が有意に高いという結果を得た。英語の必要性、英語が好きだという気持ちにおいても学習時間の多い者の方が高い意識を示している。6 つの因子についても学習時間の多いグループの方が、すべての因子によって学習する気を触発されやすいことがわかる。

H. あなたにとって英語は必要だと思いますか。 (必要・不必要)

英語の必要性の意識を問う項目 H では回答者をいくつかのグループに分類せず、他の項目や因子との関連を見た。また項目 H は 5 段階で回答するものであり、好きかどうかを問う項目 I1 や 6 つの因子も 5 段階尺度となっており、等間隔を示す数値であることから Pearson の相関で関連を測った。以下の表がその結果である。

	好きか	POSITIVE	NEGATIVE	CULTURAL	TRAINING	ANXIETY	EXAM
Pearson の 相関係数	.507(**)	.433(**)	.329(**)	.403(**)	.267(**)	.264(**)	.220(**)
N	3155	3155	3155	3155	3155	3155	3155

この結果を見ると、「必要性」と「好きか」の間の相関係数が .507 となっており、緩やかな関連があると言える。6 つの因子とはいずれも高い相関係数は示しておらず、英語の必要性の認識と英語学習の促進要因との関連はさほど強くないようと思われる。

I1. 英語は好きですか。 (好き・きらい)

	必要	POSITIVE	NEGATIVE	CULTURAL	TRAINING	ANXIETY	EXAM
Pearson の 相関係数	.507(**)	.551(**)	.425(**)	.510(**)	.355(**)	.299(**)	.269(**)
N	3155	3155	3155	3155	3155	3155	3155

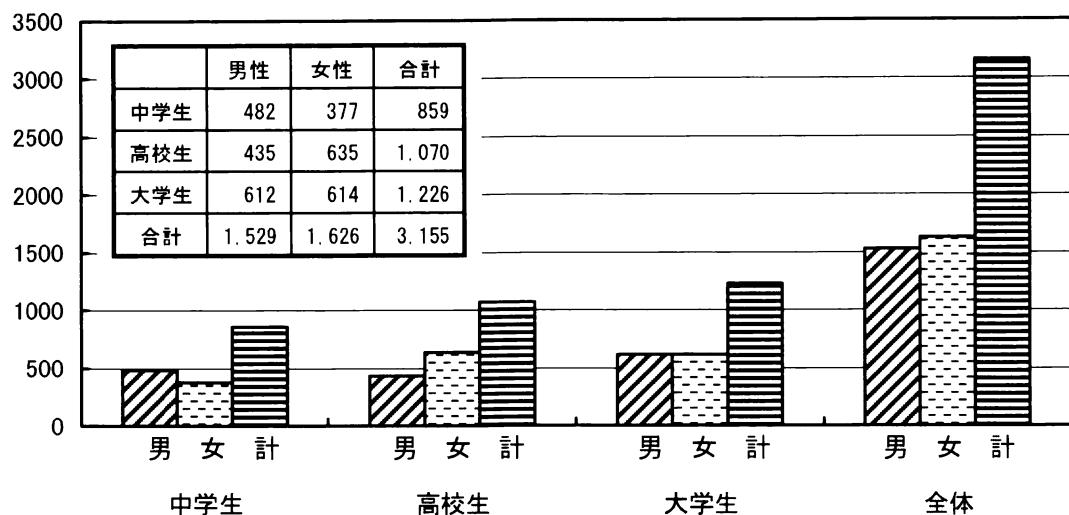
必要性とは異り、「肯定的体験」と「外国文化・外国人との接触体験」とは、それぞれ相関係数が .551, .510 と緩やかな関連を見せており、このように英語が好きな者ほど、授業の中で「できた！」という成功感を得た時や、外国文化に触れる体験などをより強く学習動機に転換できるようである。また、英語の必要性を意識するよりも、「英語が好き」という感情の方が、学習の促進要因と結びつきやすいことにも注目したい。

第三章

項目分析

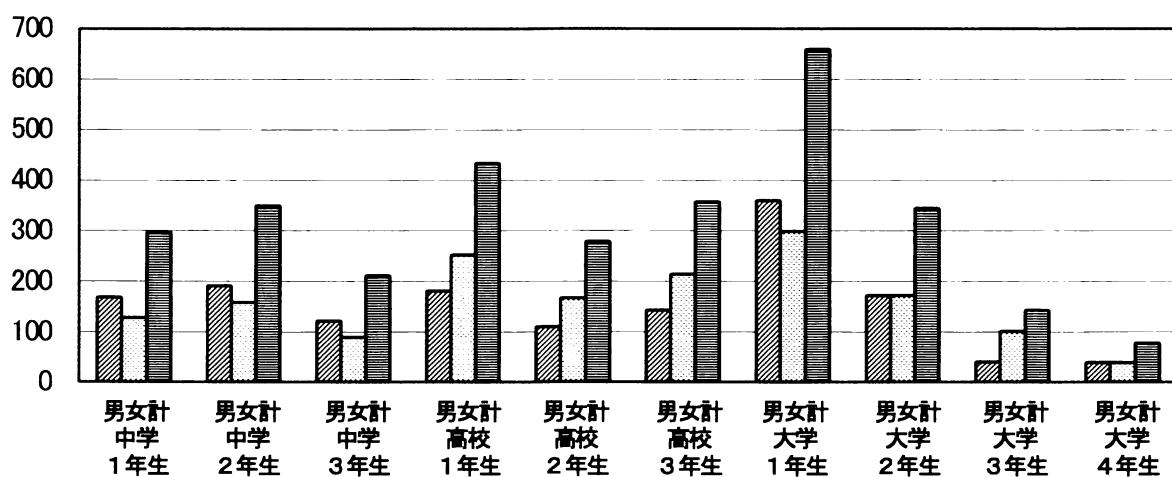
1. アンケート回答者像

回答者の校種別男女別人数は以下のグラフのようである。



回答者総数 3155 名。回答者数は大学生が最も多い、以下高校生、中学生と続く。男女の内訳は、中学生で男子が多少多く、高校で多少女子が多いが、大学生では 男女ほぼ同数である。中学は東京都の公立学校で区部 81.3%、多摩地区 18.7%である。高校は公立 71.1%、私立 28.9%である。大学は四年制大学で国公立 43.0%、私立 57.0%である。

次は学年別男女別の人数である。



各項目ごとの詳細は各項目ごとの考察に譲るとして、回答者の全体像は次のようなことが言えそうである。

過半数の人が英語は好きと感じている（約 60%）。一方、ほとんどの人が必要だと感じている（約 84%）。英語が好きになった時期は中学 1 年生ということが多い。必修教科として学習しはじめるのが中学 1 年生であり、最初の出会いが好きになった時期と重なったと思われる。英語に初めて触れた時期は小学校である（約 70%）。これは、小学校の学習指導要領が改訂され、総合的な学習の時間に英語活動が取り入れられたことが影響しているかもしれない。

さて、英語が好きになったきっかけはというと、外国人や外国文化、テレビ、映画、音楽に触れ、興味をもったことがきっかけになっているようだ。時折、そうしたことに触れるのも効果がありそうだ。

しかし、一週間の英語の家庭学習時間というとかなり厳しいのが現状である。全くしていない人が 17.5% もいるし、一週間に 6 時間に満たない人がほとんどである。（約 90%）。英語の必要性は感じているが家ではほとんど学習していないというのが現状である。

2. アンケートに見られる促進要因と阻害要因

本調査のアンケートでは、学習意欲に影響すると思われる項目について 5 段階の尺度法を使って回答を求めた。この回答を数値化する際には、学習を最も促進する回答を 5、最も阻害する回答を 1 とし、中間の 3 がどちらともいえないとした。したがって平均値が 3.00 より大きい項目が学習を促進する項目、3.00 を下回る項目が阻害要因と考えられる。

下の図が学習意欲を測った K1 から L5 の項目の平均値である。なおこれは左の列の上から平均値の高いもの順に並べてある。したがって右下にある項目が阻害要因の性質を最も強く持つことになる。

K15	4.15	L2	3.86	K34	3.19
K20	4.08	K5	3.83	K29	3.17
L4	4.08	L1	3.80	K9	3.13
K1	4.07	K16	3.80	K27	3.11
K24	4.06	K33	3.72	K11	3.11
K19	4.04	K10	3.70	K4	3.10
K26	4.03	K18	3.68	K25	3.03
K28	4.00	K3	3.68	K23	3.02
K22	3.99	L5	3.47	K6	3.01
K17	3.98	L3	3.45	K14	2.96
K30	3.98	K21	3.34	K2	2.89
K12	3.95	K8	3.32	K32	2.78
K7	3.91	K31	3.26	K13	2.74

表からもわかる通り全 39 項目中 35 項目の平均値が 3.00 以上であり、促進要因となっている。それに対して 3.00 未満で示される阻害要因は右下に白抜き文字で示されている 4 項目 (K14 「きびしい英語の先生に教わったとき」、K2 「授業で習ったことがよくわからなかつたとき」、K32 「英語の単語をたくさん覚えなければならないとき」、K13 「英語の先生にしかられたとき」) のみである。本調査の目的が促進要因を探ることにあり、もともと「促進要因になるのではないか」と思われる項目を中心にアンケートを作っていたので、ほとんどすべ

てが促進要因(平均値が3.00より大きいもの)となるのはむしろ当然であろう。一方、阻害要因に認定される4項目も平均値3.00から大きな隔たりはない。相対的に「やる気をなくした」と回答した者が多かった項目であり、意欲の阻害の方に大きく傾いているわけではない。むしろ学習意欲促進にあまり貢献しないものという意味合いが強く、必ずしも学習意欲を著しく減退させることを意味しない。この点をふまえた上で分析を進めていくことにする。

以下の項目分析では、促進要因と阻害要因に分けてデータを見ていく。ここで、促進要因と呼ぶものは、アンケートの質問に対して、④「少し勉強する気になった」または⑤「ものすごく勉強する気になった」のいずれかに○がついた回答の割合の合計である。つまり各項目の内、英語の勉強をする気になった者が何%いたかを示している。同様に阻害要因は、①「まったくやる気をなくした」と②「少しやる気をなくした」の回答の割合の合計である。

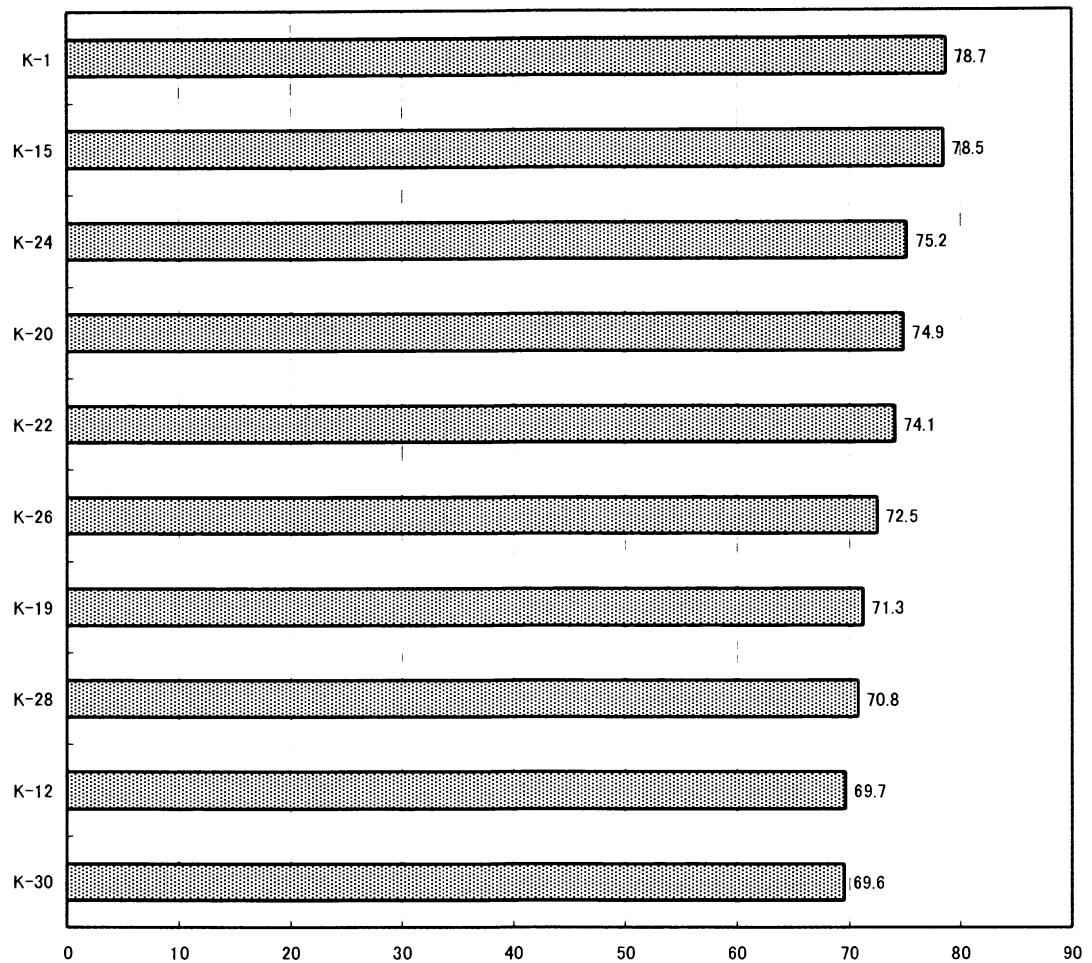
(1) 促進要因について

先にも述べた通り、促進要因について、「勉強する気になった」の回答（④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計）の割合が高かった順に項目を並べ、促進の要素の強いものは何かを見ていく。さらに、全体、中学生、高校生、大学生ごとにその割合が最も高かった10項目にしほり、因子分析と下位分類（6類型）を通じて考察を試みる。

下位分類は、以下の6類型に分ける。

- ①成功要因（「テストでいい点がとれた」、「英語で言いたいことがうまく書けた」など）
- ②エネルギー要因（「英語の単語をたくさん覚えなければならない」など）
- ③教師要因（「おもしろい英語の先生に教わった」など）
- ④理解要因（「授業で習ったことがよくわかった」など）
- ⑤進路・生き方要因（「受験のためになる授業」、「人生のためになる授業」など）
- ⑥興味要因（「外国の音楽をきいた」、「授業が楽しいふんいきだった」など）

全体



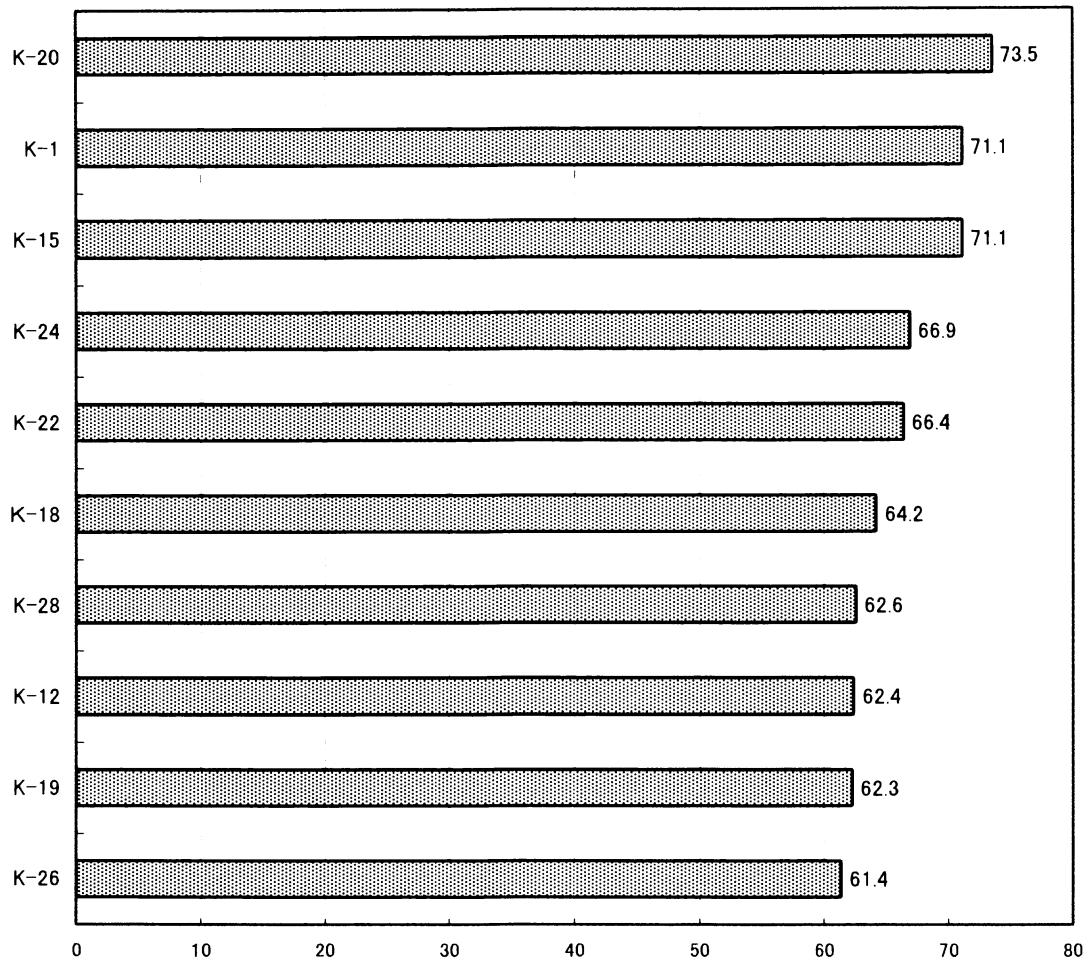
順位	番号	項目	因子	類型
1	K1	授業で習ったことがよくわかったとき	1	理解
2	K15	おもしろい英語の先生に教わったとき	1	教師
3	K24	英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	1	理解
4	K20	テストでいい点がとれたとき	1	成功
5	K22	文法がわかるようになったとき	1, 6	理解
6	K26	英語を聴いて意味がわかったとき	1	理解
7	K19	人生のためになる授業のとき	1	進路
8	K28	英語で言いたいことがうまく書けたとき	1	成功
9	K12	英語の先生にほめられたとき	1	成功・教師
10	K30	英語で言いたいことがうまく言えたとき	1	成功

全体では、10項目すべて第1因子に含まれる項目が占めている。

下位分類でみると、第1位に④理解要因「授業で習ったことがよくわかったとき」、第2位に③教師要因「おもしろい英語の先生に教わったとき」、第3位に④理解要因「英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき」、第4位に①成功要因「テストでいい点がとれたとき」が続く。以下、第5位に④理解要因「文法がわかるようになったとき」、第6位にも④理解要因「英語を聴いて意味がわかったとき」が続き、ここまでにすでに4つもの理解要因が顔を出し、いかに「わかる」ことを渴望しているかが感じ取れる。それだけ「わからない」ことで悩んでいる学生・生徒が多いといえるのではないだろうか。第7位に⑤進路・生き方要因「人生のためになる授業のとき」、第8位に①成功要因「英語で言いたいことがうまく言えたとき」、第9位に①成功要因+③教師要因「英語の先生にほめられたとき」、第10位に①成功要因「英語で言いたいことがうまく言えたとき」である。

<理解><成功><教師>が全体的にみると、キーワードとなっている。

中学生

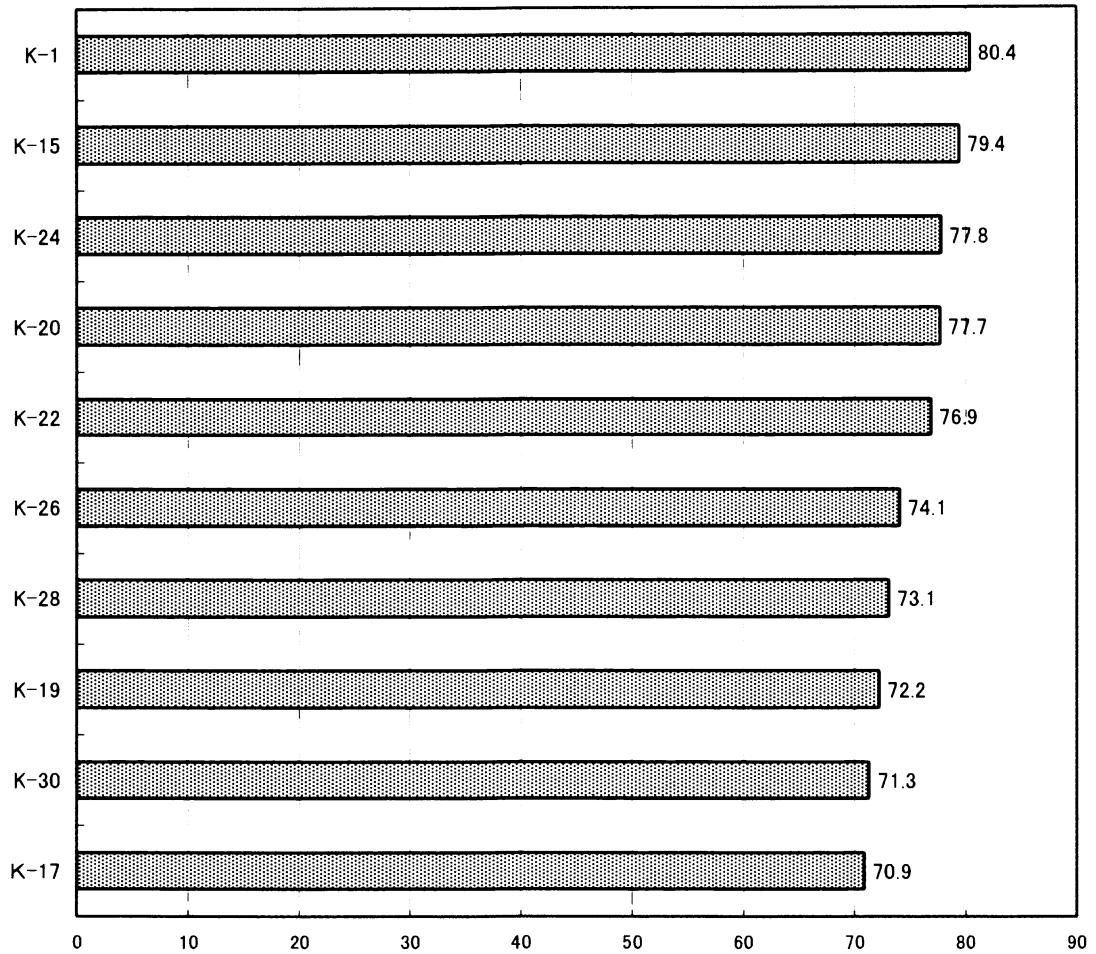


順位	番号	項目	因子	類型
1	K20	テストでいい点がとれたとき	1	成功
2	K1	授業で習ったことがよくわかったとき	1	理解
3	K15	面白い先生に習ったとき	1	教師
4	K24	英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	1	理解
5	K22	文法がわかるようになったとき	1, 6	理解
6	K18	受験のためになる授業のとき	1	進路
7	K28	英語で言いたいことがうまく書けたとき	1	成功
8	K12	英語の先生にほめられたとき	1	成功・教師
9	K19	人生のためになる授業のとき	1	進路・生き方
10	K26	英語を聴いて意味がわかったとき	1	理解

中学生では、第5位に第6因子がみえる以外すべて第1因子が占める。

下位分類でみると、第1位に①成功要因「テストでいい点がとれた」、第2位に④理解要因「授業で習ったことがよくわかった」、第3位に③教師要因「おもしろい英語の先生に教わった」が占め、端的に「テストの点」というく数値>が動機となるのがいかにも中学生らしい。以下第4位④理解要因「英語で書かれたものを読んで内容がわかった」、第5位④理解要因「文法がわかるようになった」と、やはり全体の傾向と同じく理解要因が上位を占める。第6位⑤進路・生き方要因「受験のためになる授業」、第7位①成功要因「英語でいいことがうまく書けた」、第8位①成功要因+③教師要因「英語の先生にほめられた」、第9位⑤進路・生き方要因「人生のためになる授業」、第10位④理解要因「英語を聴いて意味がわかった」と続く。成功・理解要因が促進要因として高いが、「おもしろい英語の先生」という教師要因も比重が高く、また進路・生き方要因もおそらくは上級生中心に高い率を表している。

高校生



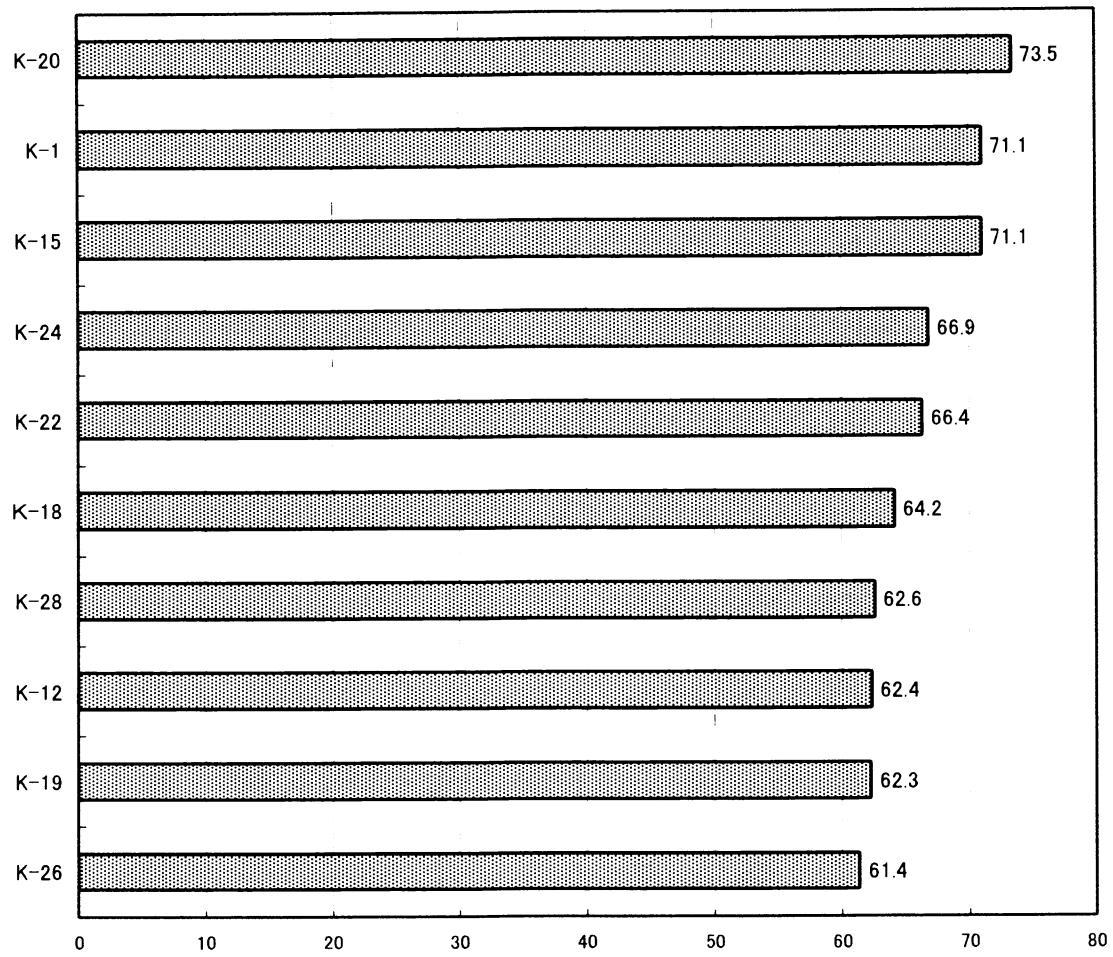
順位	番号	項目	因子	類型
1	K1	授業で習ったことがよくわかったとき	1	理解
2	K15	おもしろい英語の先生に教わったとき	1	教師
3	K24	英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	1	理解
4	K20	テストでいい点がとれたとき	1	成功
5	K22	文法がわかるようになったとき	1, 6	理解
6	K26	英語を聴いて意味がわかったとき	1	理解
7	K28	英語で言いたいことがうまく書けたとき	1	成功
8	K19	人生のためになる授業のとき	1	進路
9	K30	英語で言いたいことがうまく言えたとき	1	成功
10	K17	英語の先生が教科書以外に英語や外国語の話をしてくれたとき	1	教師・興味

高校生では、10項目すべて第1因子に含まれる項目が占めている。

下位分類でみると、第1位に④理解要因「授業で習ったことがよくわかった」、第2位に③教師要因「おもしろい英語の先生に教わった」、第3位に④理解要因「英語で書かれたものを読んで内容がわかった」、が占め、以下第4位①成功要因「テストでいい点がとれた」、第5位④理解要因「文法がわかるようになった」、第6位④理解要因「英語を聴いて意味がわかった」、第7位①成功要因「英語で言いたいことがうまく書けた」、第8位⑤進路・生き方要因「人生のためになる授業」、第9位①成功要因「英語で言いたいことがうまく言えた」、第10位③教師要因+⑥興味要因「英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれた」、と続く。

理解・成功要因が促進要因として高いが、教師要因もかなり高いと言え、「おもしろい」がどういったことをさすのか、中学生の意識と比べて違いはあるのかなど、興味深い。進路・生き方要因のうち、「人生のためになる授業」が8位、「受験のためになる授業」が18位と、中学生と逆である。受験が人生の一部でしかないことがわかる年齢にさしかかってきたことを表しているのだろうか。

大学生



順位	番号	項目	因子	類型
1	K20	テストでいい点がとれたとき	1	成功
2	K1	授業で習ったことがよくわかったとき	1	理解
3	K15	おもしろい英語の先生に教わったとき	1	教師
4	K24	英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	1	理解
5	K22	文法がわかるようになったとき	1, 6	理解
6	K18	受験のためになる授業のとき	6	進路
7	K28	英語で言いたいことがうまく書けたとき	1	成功
8	K12	英語の先生にほめられたとき	1	成功・教師
9	K19	人生のためになる授業のとき	1	進路
10	K26	英語を聴いて意味がわかったとき	1	理解

大学生では、第6位に第6因子がみえる以外、すべて第1因子が占める。

下位分類でみると、第1位に①成功要因「テストでいい点がとれた」、第2位に④理解要因「授業で習ったことがよくわかった」、第3位に③教師要因「おもしろい英語の先生に教わった」が占め、以下第4位④理解要因「英語で書かれたものを読んで内容がわかった」、 第5位④理解要因「文法がわかるようになった」、第6位⑤進路・生き方要因「受験のためになる授業」、第7位①成功要因「英語で言いたいことがうまく書けた」、第8位①成功要因+③教師要因「英語の先生にほめられた」、第9位⑤進路生き方要因「人生のためになる授業」、第10位④理解要因「英語を聴いて意味がわかった」、と続く。

成功・理解要因が強い促進要因であるのは中学生、高校生と近似し理解しやすいが、教師要因が第3位にあがることは注目される。

(2) 促進要因のまとめ

① おもしろい英語の先生はやる気にさせる

「ものすごく勉強する気になった」のは、第1位 36.8%の人が「おもしろい英語の先生に教わったとき」と答えている。「少し勉強する気になった」「ものすごく勉強する気になった」の合計でも第2位で 78.5%である。男子では第2位 71.2%、女子では第1位 85.6%である。女子の方が高い。

さて、「おもしろい英語の先生」とはどんな先生であろうか。漫才師や落語家の洒落や落ちとは違うのではなかろうか。明るく人間的な魅力のある先生となると、人格に関する事でもあり、一朝一夕に達成できるものではない。

② わかる授業はやる気にさせる

「少し勉強する気になった」「ものすごく勉強する気になった」の合計をみると、第1位は 78.7%で「授業で習ったことがよくわかったとき」である。他の項目をみても、第3位 75.2%「英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき」、第5位 74.1%「文法がわかるようになったとき」、第6位 72.5%「英語を聴いて意味がわかったとき」などと続いている。男子より女子にその傾向が強い。わかる授業は生徒をやる気にさせるといえる。教材研究、授業準備を十分にし、できるかぎりわかりやすい授業を心がけることが大切である。しかし、「わかる」ということは個人差がある。形成的評価の手法生かし、授業中に、時々、学習者の反応を確認しながら授業を進めることが大切である。

③ 人生のためになる授業はやる気にさせる

「ものすごく勉強する気になった」のは、第2位 33.7%の人が「人生のためになる授業のとき」と答えている。「少し勉強する気になった」「ものすごく勉強する気になった」の合計でも第7位で 71.3%である。男子では第6位 64.7%、女子では第10位 77.5%である。

英語の学習が人生のためになるかどうかは、学習者の意識にかかっている。英語を勉強しても役に立たないと思っていては身が入らない。英語ができる方がいろいろな面で世界が広がることを折に触れて話すことも大切である。

④ 達成感や成就感をもたらす授業はやる気にさせる

「ものすごく勉強する気になった」のは、第2位 33.7%の人が「テストでいい点がとれたとき」と答えている。「少し勉強する気になった」「ものすごく勉強する気になった」の合計でも第4位で 74.9%である。男子では第4位 67.3%、女子では第4位 82.2%である。その他の項目でも、「少し勉強する気になった」「も

のすごく勉強する気になった」の合計で、第8位 70.8%「英語で言いたいことがうまく書けたとき」、第10位 69.6%「英語で言いたいことがうまく言えたとき」、第13位 65.3%「外国人と英語でうまく話せたとき」と続く。

テストや課題を与えるときには、達成感や成就感が持てるようにすることがやる気にさせる。

⑤ ほめるとやる気にさせる

「少し勉強する気になった」「ものすごく勉強する気になった」の合計で、第9位は 69.7% で「英語の先生にほめられたとき」である。男子では第11位 59.3%、女子では第7位 79.5% である。女子の方が高い。逆に「英語の先生にしかられたとき」は最下位である。しかるよりほめる方がやる気を育てることがわかる。

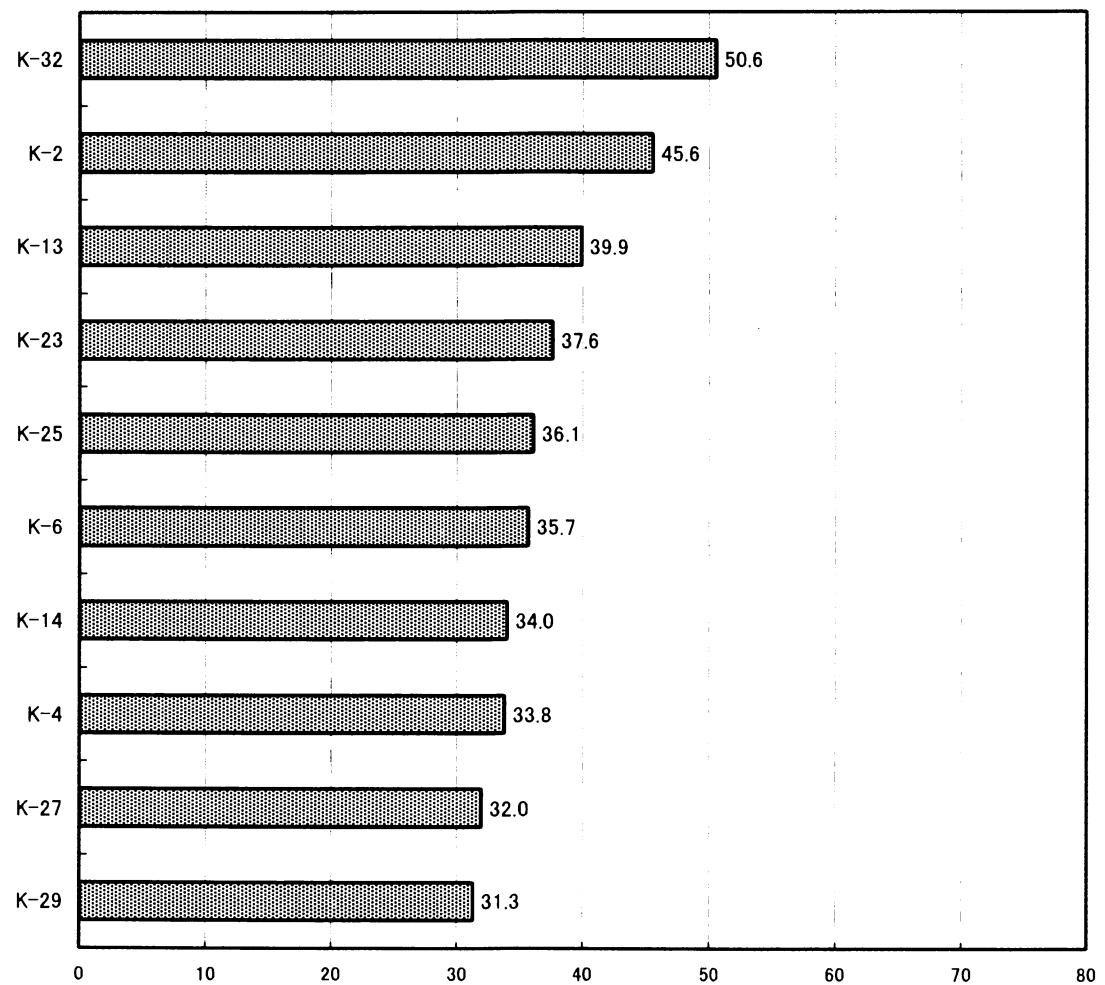
(3) 阻害要因について

阻害要因の分析についても促進要因と同様の手順をとる。まず、「やる気をなくした」の回答（①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計）の割合が高かった順に項目を並べ、次に割合の最も高かった10項目にしぼり、因子分析と下位分類（4類型）を通じて考察を試みる。

下位分類は、以下の4類型に分ける。

- ①成功要因（「授業中に質問され答えられなかった」、「テストで悪い点をとった」、「英語を聞いて意味がよくわからなかった」など）
- ②エネルギー要因（「英語の単語をたくさん覚えなければならない」、「授業でたくさんの基本文の口頭練習をした」など）
- ③教師要因（「英語の先生にしかられた」、「きびしい英語の先生に教わった」など）
- ④理解要因（「授業で習ったことがよくわからなかった」、「文法がよくわからなかった」など）

全体

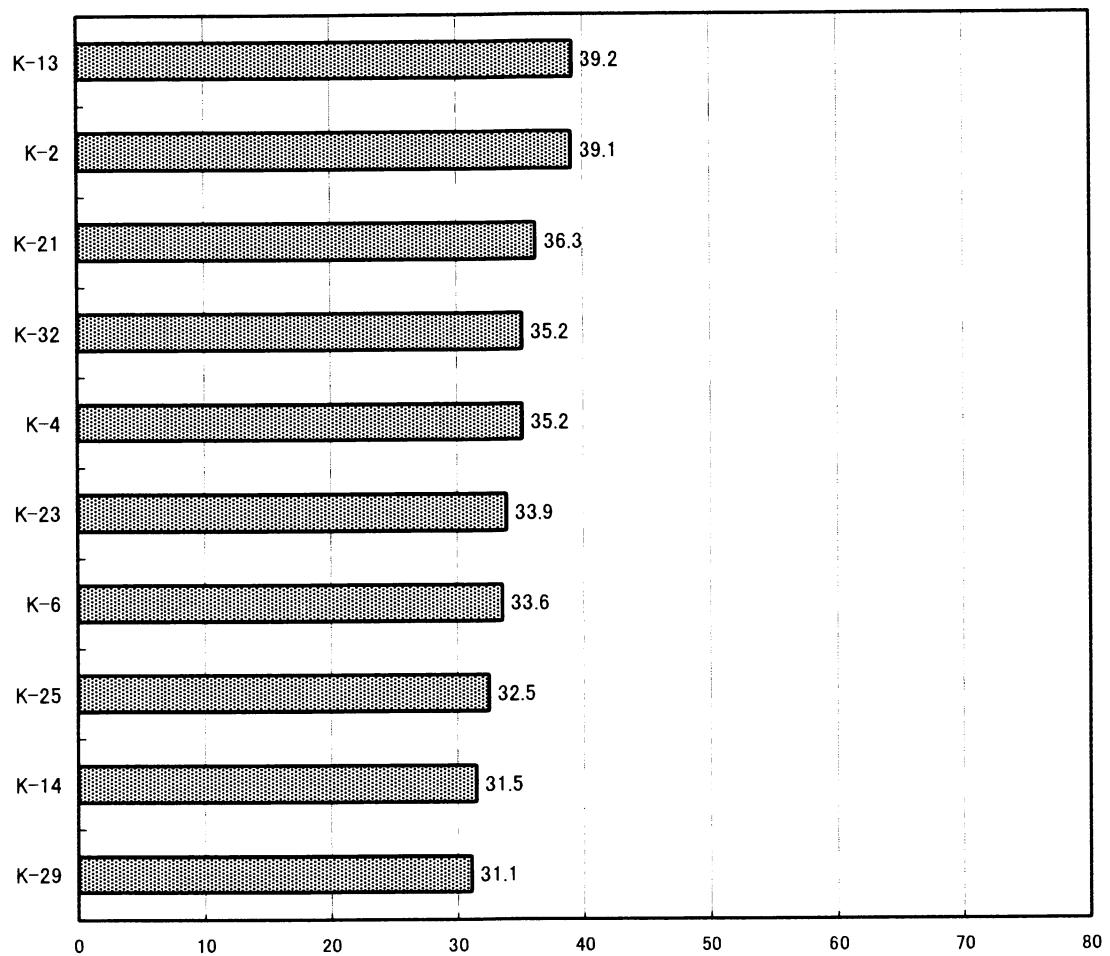


順位	番号	項目	因子	類型
1	K32	英語の単語をたくさん覚えなければならないとき	2	エネルギー
2	K2	授業で習ったことがよくわからなかつたとき	2	理解
3	K13	英語の先生にしかられたとき	2	教師
4	K23	文法がわからなかつたとき	2	理解
5	K25	英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	2	理解
6	K6	英語でうまく発表できなかつたとき	2	成功
7	K14	厳しい英語の先生に教わつたとき	2	教師
8	K4	授業中に質問され答えられなかつたとき	2	成功
9	K27	英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	2	理解
10	K29	英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	2	成功

全体的には、10項目すべて第2因子が占め、下位分類でみると第1位に②エネルギー要因「英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき」、第2位に理解要因「授業で習ったことがよくわからなかつたとき」、第3位に①成功要因+③教師要因「英語の先生にしかられたとき」、第4位に④理解要因「文法がわからなかつたとき」、第5位に理解要因「英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき」があがり、エネルギー負荷に対してかなり抵抗感があるが、やはり意欲の阻害に関しては、促進要因と対照的に、理解要因すなわち「わからない」ことが大きな原因をなす。第6位に成功要因「英語でうまく発表できなかつたとき」、第7位に教師要因「きびしい英語の先生に教わつたとき」、第8位に理解要因「授業中に質問され答えられなかつたとき」、第9位に理解要因「英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき」、第10位に成功要因「英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき」と続く。

促進要因では順位の高かった教師要因が阻害要因では低く、英語教師が学生・生徒にとって好意的に受け入れられている様子が感じ取れる。

中学生

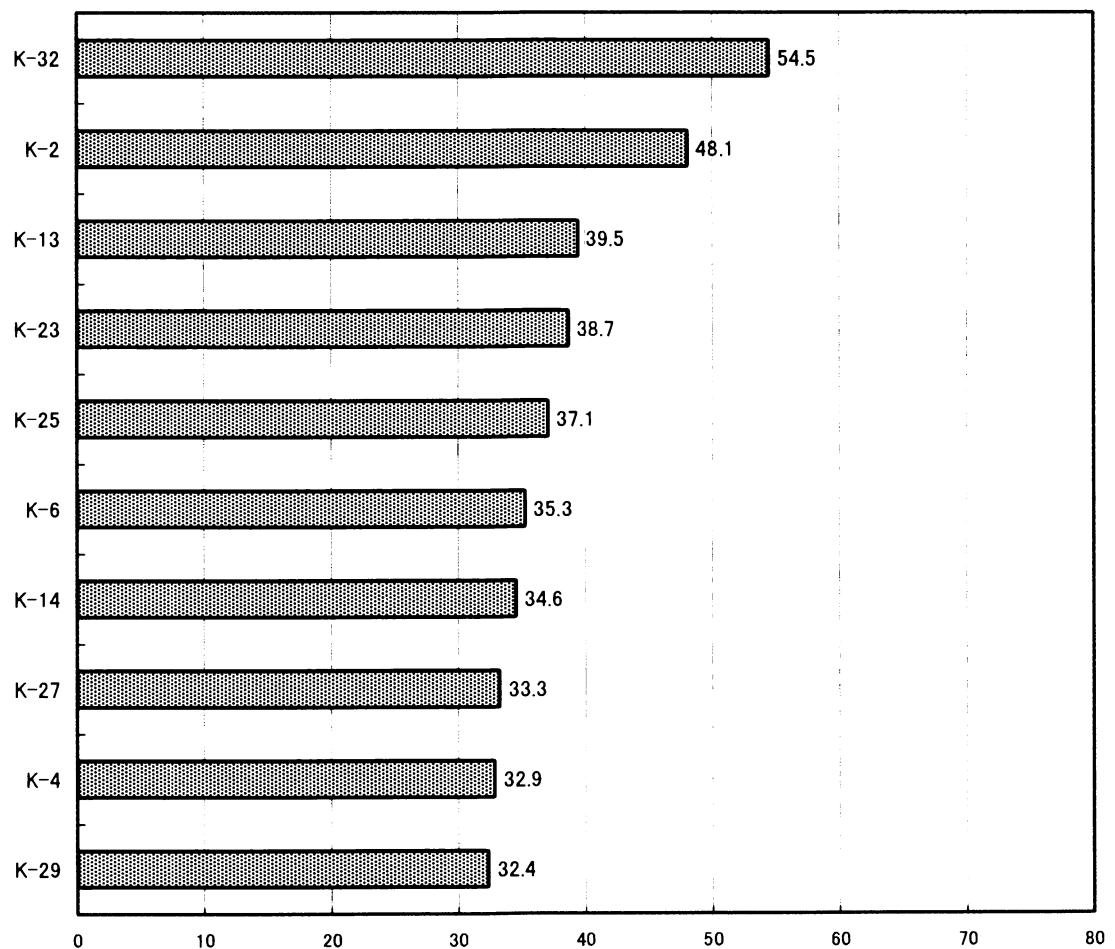


順位	番号	項目	因子	類型
1	K13	英語の先生にしかられたとき	2	教師
2	K2	授業で習ったことがよくわからなかつたとき	2	理解
3	K21	テストで悪い点をとつたとき	2	成功
4	K32	英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	2	エネルギー
5	K4	授業中に質問され答えられなかつたとき	2	成功
6	K23	文法がわからなかつた	2	理解
7	K6	英語でうまく発表できなかつたとき	2	成功
8	K25	英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	2	理解
9	K14	きびしい英語の先生に教わつたとき	2	教師
10	K29	英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	2	成功

中学生では、10項目すべて第2因子が占め、下位分類でみると第1位に③教師要因「英語の先生にしかられた」、第2位に④理解要因「授業で習ったことがよくわからなかつた」、第3位に①成功要因「テストで悪い点をとつた」がきている。この3者は、本格的に学習としての英語を始めた中学生にとって、大変大きな影響を与えるものといつていいだろう。このあと、第4位に②エネルギー要因「英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき」、第5位に①成功要因の「授業中に質問され答えられなかつた」、第6位に④理解要因「文法がわからなかつた」、第7位に①成功要因「英語でうまく発表できなかつた」、第8位に④理解要因「英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつた」、第9位に③教師要因「きびしい英語の先生に教わつた」、第10位に①成功要因「英語で言いたいことがうまく書けなかつた」と続く。

こうしてみると中学生にとっては①と④の要因、すなわち「～ができなかつた」不成功体験や、「～がよくわからなかつた」理解困難体験が意欲の喪失につながりやすいと言える。中学生で特徴的なのは、エネルギー負荷に対してさほど抵抗感がみられないことである。

高校生



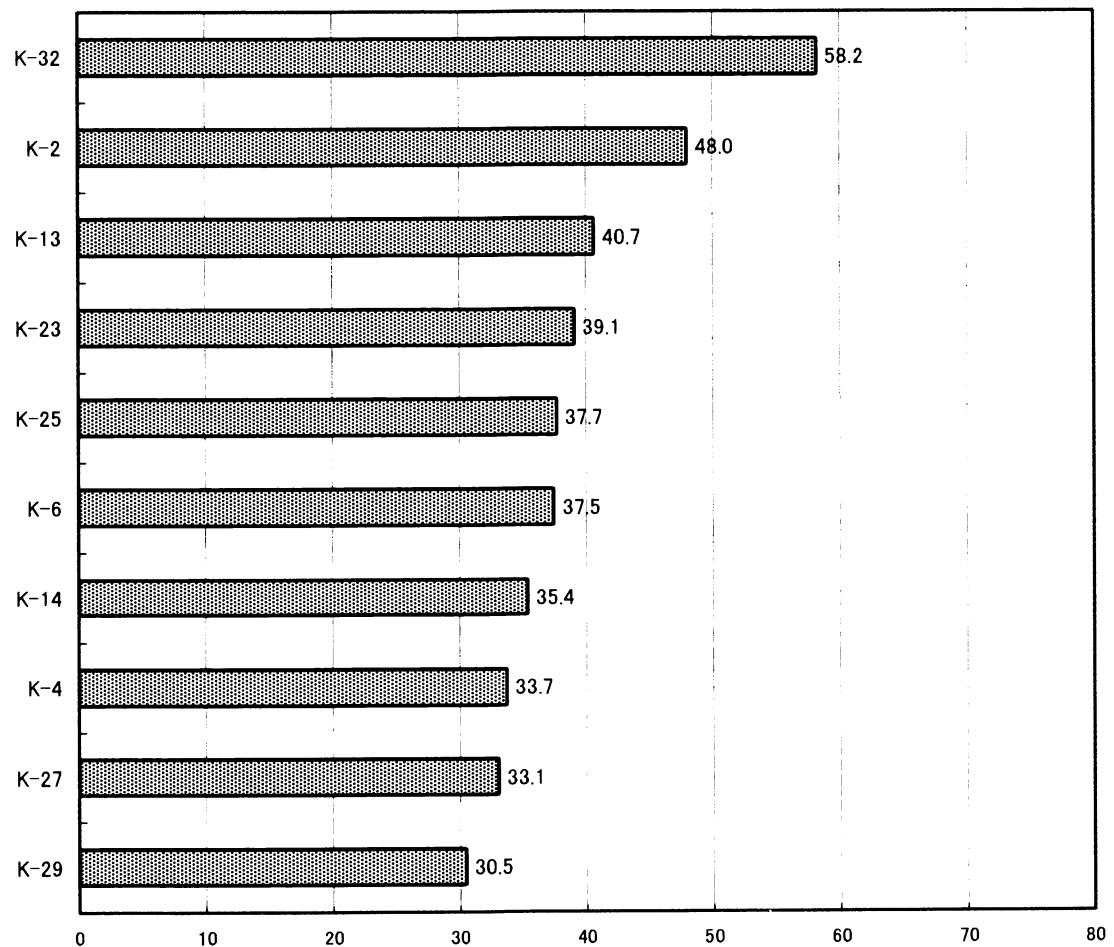
順位	番号	項目	因子	類型
1	K32	英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	2	エネルギー
2	K2	授業で習ったことがよくわからなかつたとき	2	理解
3	K13	英語の先生にしかられたとき	2	教師
4	K23	文法がわからなかつたとき	2	理解
5	K25	英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	2	理解
6	K6	英語でうまく発表できなかつたとき	2	成功
7	K14	きびしい英語の先生に教わつたとき	2	教師
8	K4	授業中に質問され答えられなかつたとき	2	成功
9	K27	英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	2	理解
10	K29	英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	2	成功

高校生では、10項目すべて第2因子が占め、順位は全体の傾向と全く同じであった。

下位分類でみると第1位に③エネルギー要因「英語の単語をたくさん覚えなければならないとき」、第2位に④理解要因「授業で習ったことがよくわからなかつたとき」、第3位に①教師要因「英語の先生にしかられたとき」がきている。

第1位のエネルギー要因「単語をたくさん覚えなければならない」は、中学校よりも格段に多くの単語習得が求められることによるだろう。語源や派生といった<単語の成り立ち>を折り込みながらの指導を加えることによってこの負担感は大幅に改善されるであろう。中学生では第1位であった「先生にしかられたとき」は依然第3位と高く、年齢的なプライドが加わることも考え合わせると、「しきりかた」における配慮が必要であると考えられる。第4位、第5位に④理解要因「文法がわからなかつた」「英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつた」が続くが、この点の解消にも語彙力の向上が欠かせない。第7位に①教師要因「きびしい英語の先生に教わつた」が来る点、中学生と異なり、教師の厳しさは当然と受け止めるのであろうか、抵抗感はかなり低減する。

大学生



順位	番号	項目	因子	類型
1	K32	英語の単語をたくさん覚えなければならないとき	2	エネルギー
2	K2	授業で習ったことがよくわからなかつたとき	2	理解
3	K13	英語の先生にしかられたとき	2	教師
4	K23	文法がわからなかつたとき	2	理解
5	K25	英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	2	理解
6	K6	英語でうまく発表できなかつたとき	2	成功
7	K14	きびしい英語の先生に教わつたとき	2	教師
8	K4	授業中に質問され答えられなかつたとき	2	成功
9	K27	英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	2	理解
10	K29	英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	2	成功

大学生でも、10項目すべて第2因子が占め、興味深いことに阻害要因の順位傾向は高校生のそれと全く同じであった。

総じて言えることは、意識の発達過程における境目は中学生と高校生・大学生の間に存在しており、その間の特徴を理解して指導することが重要であるということである。

(4) 阻害要因のまとめ

① 英語の単語をたくさん覚えなければならぬと感じさせるとやる気をなくさせる

「まったくやる気をなくした」「少しやる気をなくした」の合計をみると、第1位は50.6%で「英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき」である。男女とも第1位で男子48.2%、女子53%である。女子の方が高い。中学では第5位であるが、高校・大学は第1位である。

単語を覚えることが学習者の負担になっていることがわかる。機械的に暗記させるのではなく、たくさん聴かせ、たくさん読ませるなどインプットを増やし、自然に覚えさせる工夫が必要である。

② わかりにくい授業はやる気をなくせる

「まったくやる気をなくした」「少しやる気をなくした」の合計をみると、第2位は45.6%で「授業で習ったことがよくわからなかったとき」である。男女とも第2位で、男子45.6%、女子45.5%である。男女とも差がほとんどない。同様に、第5位36.1%「英語で書かれたものを読んで内容がわからなかったとき」、第9位32%「英語を聞いて意味がよくわからなかったとき」と続く。

わかる授業は生徒をやる気にさせるが、わかりにくい授業はやる気を失わせる。教材研究、授業準備を十分にし、できるかぎりわかりやすい授業を心がけることが大切である。改めて、形成的評価の手法生かし、授業中に、時々、学習者の反応を確認しながら授業を進めることが大切である。

③ しかられるとやる気をなくせる

「まったくやる気をなくした」「少しやる気をなくした」の合計をみると、第3位は39.9%で「英語の先生にしかられたとき」である。男子では第5位で35.3%、女子は第3位で44.1%である。女子の方がしかられるとやる気を失いやすい。また、「まったくやる気をなくした」の第2位14.3%で「きびしい先生に教わったとき」である。

きびしかったり、しかられたりするのはやる気を失わせる。

④ 達成感・成就感をもたせない授業はやる気をなくせる

「まったくやる気をなくした」の第5位は10.1%で「英語でうまく発表できなかつたとき」である。「まったくやる気をなくした」「少しやる気をなくした」の合計でも第6位で35.7%である。男子では第3位で36.4%、女子は第6位で35.1%である。男女とも差がほとんどない。

更に、第8位34%「授業中に質問されて答えられなかつたとき」、第11位29.7%

「テストで悪い点をとったとき」と続く。テストや課題が学習者の能力と合っていることの大切さがわかる。難しすぎるテストや課題はやる気を失わせる。

第四章

授業者への提言

第四章 授業者への提言

これまでの章で行った因子分析、項目分析を通じて、学習意欲に影響を与える要因とはどういうものか、そしてそれらが相互にどのような影響を与え合っているのかを見てきた。この章ではその結果をふまえて、学習者の意欲をどうやったら高めていけるのかを授業者の視点から考えていきたい。

1. 「できた」ということによる肯定的体験

今回の分析の結果、達成感を持たせることで学習意欲が促進されることがわかった。「分かった」、「できた」との達成感は年齢を問わずうれしいものである。「できない」から「勉強せよ」と生徒にせまる授業者もいることだろう。しかし、否定的体験を肯定的な意欲に転化し、「勉強しようという気になる」には、かなりのエネルギーが必要だ。資格試験を受けたいとか、留学したい、将来英語を使って仕事をしたいと目標のある生徒にはどんな結果が出ても自らの学習意欲につなげていくこともできるだろう。しかし、目標がはっきりしている生徒ばかりではない教室においては、やはり生徒のレベルを考慮し、達成感を実感できる授業を工夫したいものである。

また生徒の成功をしっかりとほめることも学習意欲を促進する。「叱るよりもほめて子供を育てよ」と授業者も肝に銘じるべきであろう。やる気を起こさせるために、ほめる事は人を選ばない。そして、ただほめるのではなく、ほめるような努力をさせることが大切である。

2. 「できなかった」ということによる否定的体験

学習意欲のない生徒に学習意欲を喚起させることは難しい。工夫のない授業では、寝ている生徒を起こせない。自分の授業を工夫しないで勉強せざるを得ない状況におくのは難しい。難しいテストを実施して生徒が奮起することを期待する場合もあるが、これはだれにでも通用する方法ではないようだ。本調査の結果が示すとおり、否定的体験が学習意欲を喚起させることは難しい。叱咤激励は人を選ぶ。叱咤激励して伸びる生徒かどうかを授業者が見極めなければならないといえる。同時にこのことは普段から生徒のことをよく知り、一人一人に合わせた指導ができるよう心がけておくことがいかに大切なことを示している。

3. 通常の授業内容と異なる外国文化・外国人との接触体験

相手の文化や社会に対する興味関心をもたせることは第二言語習得の研究で統合的動機付けと言われるものである。本調査の因子分析によって得られた外国人や外国文化との直接的な接触体験も統合的動機付けと同種類のものと考えられるが、本研究においても学習意欲を促進するものであった。

また、直接外国人との接触がなくても、英語が実社会でも通用し、使われているという実感を持たせることも学習意欲につながる。日頃の授業でいかに英語と生徒の実生活とのつながりをもたせるように工夫するかが大切である。日常生活に役に立つと言われる表現や話題を紹介しても、生徒にそういった実感がない場合は積極的に学ぼうという態度には結びつきにくい。例えば、税関での会話は、修学旅行等で海外に行くという前であればある程度学習意欲を喚起するであろうが、全く飛行機に乗ったこともなければパスポートすら見たことがないという生徒にはピンとこない練習ではないだろうか。その反対に、英語で手紙を書くときにネイティブスピーカーが読んで返事をくれる状況ならば学習意欲があがるだろう。学習そのものが本物のコミュニケーション活動になるからである。授業にどれだけ本物のコミュニケーション活動の要素を盛り込むかが学習意欲に大きく作用する。

4. 機械的練習・ドリル

今回の因子分析等から、単語を覚える作業に意欲的に取り組む生徒は、口頭練習など他の単純で地味な練習に対してもより積極的であるといった傾向が見られた。逆にひとつの作業に対してなかなかやる気になれないという生徒は、機械的な練習すべてを忌避する傾向にある。機械的練習の中でも特に「単語を覚える」という作業に対しては忌避の傾向が見られ、どちらかというと学習意欲を失う者の方が多く現われている。しかしながら、因子分析の結果からもわかる通り、中学生は高校生、大学生と比べて、機械的練習によってより強く学習意欲を感じている。

したがって、学習意欲の面から見れば、中学生の時に機械的練習をたくさんやっておくことが理にかなっているようだ。語彙習得に関しても語彙リストや単語集を渡されて素直に練習をする意欲を持つのは中学生である。しかし、現在の日本の英語教育のカリキュラムでは中学段階での学習語彙が大幅に制限され、その分高校での負荷が大きくなっている。学習意欲の面から言えば、これ

は逆効果と言わざるを得ない。中学生の時は英語学習の初期にあたる。その時にしっかりと必要語彙を習得させる方が、以降の高校、大学での英語学習をスムーズにすることであろう。

単語を覚える、口頭練習をするなどの機械的練習はどの学習段階であっても避けては通れない重要な作業である。これらを忌避することなく、しっかりと練習をする態度を初期に身に付けておくことが、その生徒の長く地道な英語学習を支えていくことになる。このことを授業者は気に留めておく必要があるだろう。

5. 教室内での不安感

教室内での不安感は学習意欲を阻害する要素を含んでいる。しかし、適度の緊張感は授業に限らず、集中力を高めるために必要である。生徒も授業に緊張感があること自体は肯定的に捉えている。緊張感が不安感につながるかどうかは受け止め方に個人差が見られる。

それに対して、教員の接し方によって引き起こす緊張感には生徒は否定的な反応を示すようだ。授業者が生徒をしきりつけて圧迫感を与えるような授業は生徒の不安感を助長させ、学習意欲の喪失につながっていくように思われる。因子分析の結果から特に中学生、高校生にこういった面での配慮が必要であると言えよう。

したがって、授業での発言や間違いが生徒に不安感を抱かせないクラスの雰囲気作りが重要である。グループサイズなども教室内での不安感を生み出す一因であろう。いきなり個人指名をして、しんと静まり返ったクラスの前で発言をさせることなどは著しく不安感をあおる危険性がある。そのような時には必要に応じてペアワークやグループワークを取り入れたり、音楽を流したりなどして緊張感を和らげる工夫をするなども必要であろう。

また授業の目的を明示せずいたずらに厳しく接することは不安感を助長するだろう。「授業者は何を生徒に達成させたいのか」、「生徒はどのようなスキルを習得するのか」を明確にして行う授業活動は生徒の学習意欲を喚起しやすい。例えば、スピーチング・スキルを養う授業では発言することを最重要視する授業者の意図が生徒に伝わっていることが大切である。そのような明確な目的を提示することで適度の緊張感を持ちつつも不安に思うことなく授業に取り組めるのではないだろうか。

6. 受験と文法

生徒は、文法は受験に不可欠であると感じている。文法ができるようになれば受験に役立ち、やる気になると感じている。このように、受験やテスト、英検やTOEICのような資格取得などは外的利益を得るために行う道具的動機付けと呼ばれるものである。したがって道具的動機付けとして受験あるいは英語の試験というのが日本人学習者にとって大きな役割を果たしていることがわかる。特に英語は学校で勉強する科目であるという受け止め方が強い中学生においては、こういった形の学習意欲の促進が有効である。

また、文法がわかるようになると学習意欲を促進するという結果が出ていることから、受験か一般的英語力かという区分ではなく、学習意欲の面からも文法がわかるようにすることが重要だと言えよう。

このように一口に学習意欲の促進と言っても、それには様々な要素が複雑に絡み合っている。その仕組みについて正確に理解することは困難なことであるし、「こうやっておけば間違いなく学習意欲を促進できる」というような結論も簡単には見つからない。しかしながら大まかではあるが、現在の日本人英語学習者が持っている一般的な傾向については大いに発見があった。今回の調査が各教育現場においてよりよい英語学習・教育への一助となれば幸いである。

その反面、調査結果から「個人差による」という要素も多く見られた。したがって、生徒の性格や学習場面の特殊性などに応じて授業者が判断し対処していくことの大切さを再認識することにもなった。本調査を通じての一番の発見は、生徒の学習意欲を支えていくためには、日頃から生徒一人一人のことをよく知ろうという努力が大切だということなのかもしれない。

資 料

(資料 1) 英語学習促進要因アンケート用紙

英語教育に関するアンケート

このアンケートは学校での英語教育の改善のための調査です。次のページから始まるアンケートの回答にご協力ください。質問は選択肢の中から自分にあてはまるものを 1 つだけ、またはいくつかを選んで、それに○をつけてもらうものです。各質問に○をつける数が書いてありますのでよく読んで回答して下さい。選択肢の中に自分の考えと合うものがない場合は「一番近いもの」を選んで○をつけてください。

このアンケートについて私たちは以下のことをみなさんにお約束します。

1. アンケートの回答は成績とは一切関係ありません。
2. このアンケートはこの調査のためにしか使いません。

言語教育振興財団
英語小委員会

- A. 所属 中学校 ・ 高等学校 ・ 大学
B. 学年 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 年生
C. 性別 男 ・ 女

D. 英語に初めてふれたのはいつですか。(1つに○)

1. 小学校より前
2. 小学校低学年から
3. 小学校中学年から
4. 小学校高学年から
5. 中学校から
6. 高等学校から
7. 大学から

E. いつから英語を継続的に学習し始めましたか。(1つに○)

1. 小学校より前
2. 小学校低学年から
3. 小学校中学年から
4. 小学校高学年から
5. 中学校から
6. 高等学校から
7. 大学から

F. 自分のまわりに英語がじょうずな人がいますか。(いくつでも○)

1. いない
2. 父・母
3. 祖父・祖母
4. おじさん・おばさん
5. 兄弟、姉妹
6. 近所の人
7. 友達
8. その他 ()

G. 家で一週間にどのくらい英語を勉強しますか。(1つに○)

1. まったくしない
2. 1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上4時間未満
5. 4時間以上6時間未満
6. 6時間以上8時間未満
7. 8時間以上11時間未満
8. 11時間以上14時間未満
9. 14時間以上

H. あなたにとって英語は必要だと思いますか。(1つに○)

- ① まったく必要 ② どちらかというと必要だと思わない ③ どちらともいえない ④ どちらかというと必要だと思う ⑤ 絶対に必要だと思う

I 1. 英語は好きですか。(1つに○)

- ① 大嫌い ② どちらかというと好き ③ どちらともいえない ④ どちらかというと好き ⑤ 大好き

* * * * *

I 1で「どちらかというと好き」または「大好き」と答えた方にお聞きします。

I 2. 英語が好きになったのはいつ頃からですか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 小学校より前から | 2. 小学校1~2年頃から |
| 3. 小学校3~4年頃から | 4. 小学校5~6年頃から |
| 5. 中学生1年頃から | 6. 中学校2年頃から |
| 7. 中学校3年頃から | 8. 高校1年頃から |
| 9. 高校2年頃から | 10. 高校3年頃から |
| 11. 大学入学後 | 12. いつのまにか |

I 3. どんなきっかけで英語が好きになりましたか。(いくつでも○)

1. 授業がよい
2. 学校の先生がよい
3. 教科書、教材がよい
4. 宿題をやってよかったです
5. 試験でいい点がとれたり授業中に答えられる
6. 外国人や外国の文化に興味がある
7. テレビの英語番組や外国の映画、音楽に興味がある
8. 自分の知らないことばを勉強するのがおもしろい
9. 友達の影響を受ける
10. 憧れる人が英語が上手だ
11. 英語の本や英語に関する本を読む
12. インターネットやeメールを使う
13. その他 ()

*** ここから先の問題には、すべての人が答えてください ***

K. 次のようなときにどのように感じましたか。各質問につきあてはまるものを①～⑤の中から一つ選び、その番号を○でかこんでください。

1. 授業で習ったことがよくわかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

2. 授業で習ったことがよくわからなかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

3. 授業中に質問され答えられたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

4. 授業中に質問され答えられなかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

5. 英語でうまく発表（スキット、スピーチなど）ができたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

6. 英語でうまく発表（スキット、スピーチなど）ができなかつたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

7. 授業が楽しいふんいきだったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

8. 授業に緊張感があるとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

9. 授業でたくさん基本文の口頭練習をしたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

11. 授業でたくさん暗唱をしたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

12. 英語の先生にほめられたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

13. 英語の先生にしかられたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

14. きびしい英語の先生に教わったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

15. おもしろい英語の先生に教わったとき

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|----------|
| ① まったく | 少し | 特になにも | 少し英語を | ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかった | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なった | なった |

16. 外国人の先生に教わったとき

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|----------|
| ① まったく | 少し | 特になにも | 少し英語を | ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかった | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なった | なった |

17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|----------|
| ① まったく | 少し | 特になにも | 少し英語を | ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかった | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なった | なった |

18. 受験のためになる授業のとき

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|----------|
| ① まったく | 少し | 特になにも | 少し英語を | ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかった | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なった | なった |

19. 人生のためになる授業のとき

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|----------|
| ① まったく | 少し | 特になにも | 少し英語を | ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかった | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なった | なった |

(自分の英語について)

20. テストでいい点がとれたとき

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|----------|
| ① まったく | 少し | 特になにも | 少し英語を | ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかった | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なった | なった |

21. テストで悪い点をとったとき

- | | | | | |
|--------|------|--------|--------|----------|
| ① まったく | 少し | 特になにも | 少し英語を | ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかった | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なった | なった |

22. 文法（英語のしくみやルール）がわかるようになったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

23. 文法（英語のしくみやルール）がわからなかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

26. 英語を聴いて意味がわかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

27. 英語を聴いて意味がよくわからなかったとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------|------------|
| ① まったく | ② 少し | ③ 特になにも | ④ 少し英語を | ⑤ ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかつた | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なつた | なつた |

30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------|------------|
| ① まったく | ② 少し | ③ 特になにも | ④ 少し英語を | ⑤ ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかつた | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なつた | なつた |

31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------|------------|
| ① まったく | ② 少し | ③ 特になにも | ④ 少し英語を | ⑤ ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかつた | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なつた | なつた |

32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------|------------|
| ① まったく | ② 少し | ③ 特になにも | ④ 少し英語を | ⑤ ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかつた | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なつた | なつた |

33. 英語の発音がうまくできたとき

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------|------------|
| ① まったく | ② 少し | ③ 特になにも | ④ 少し英語を | ⑤ ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかつた | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なつた | なつた |

34. 英語の発音がうまくできなかつたとき

- | | | | | |
|--------|------|---------|---------|------------|
| ① まったく | ② 少し | ③ 特になにも | ④ 少し英語を | ⑤ ものすごく英語を |
| やる気を | やる気を | 感じなかつた | 勉強する気に | 勉強する気に |
| なくした | なくした | | なつた | なつた |

L. 学校以外で次のようなときにどのように感じましたか。あてはまるものを一つ選びその番号を○でかこんでください。(経験のない場合は答えなくてけっこうです。)

1. 外国の映画やドラマを見たとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

2. 外国の音楽を聴いたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

4. 外国人とうまく英語で話ができたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

5. 外国人とうまく話ができなかつたとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

6. 外国に旅行したとき

- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

7. 外国で生活(六ヶ月以上)したとき

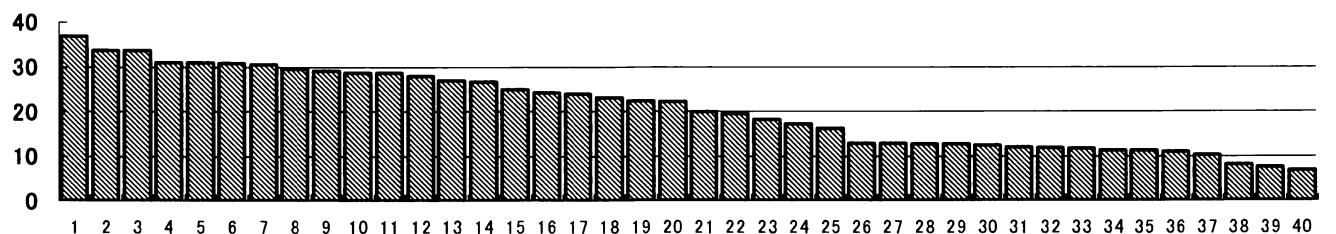
- | | | | | |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|
| ① まったく
やる気を
なくした | ② 少し
やる気を
なくした | ③ 特になにも
感じなかった | ④ 少し英語を
勉強する気に
なった | ⑤ ものすごく英語を
勉強する気に
なった |
|------------------------|----------------------|-------------------|--------------------------|-----------------------------|

- M. 学校の授業以外で自分でどのようにして英語を勉強をしていますか、または、してきましたか。(いくつでも○)
1. 英会話学校に通う・英会話の個人授業を受ける
 2. 友達と一緒に勉強をする
 3. 英語のクラブ、サークルに入る
 4. インターネットで英語を使う
 5. 英語で映画やビデオを見る
 6. 英語の歌を聴いたり覚えたりする
 7. テレビやラジオの英語の番組で勉強する
 8. 英字新聞を読む
 9. 英語の本、雑誌を読む
 10. 外国人の友達と英語で話をする
 11. 外国人と英語で手紙、Eメール、チャットなどをする
 12. 英語研修やホームステイなどで外国に行く
 13. 塾、予備校に通う
 14. 英語や英会話について「日本語で書かれた」本をよく読む
 15. その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

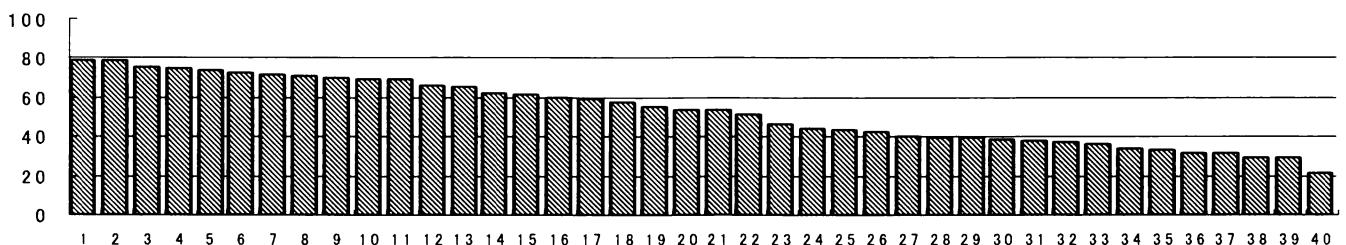
(資料2) 校種別英語学習意欲促進要因・阻害要因のグラフ

全体⑤「ものすごく勉強する気になった」順

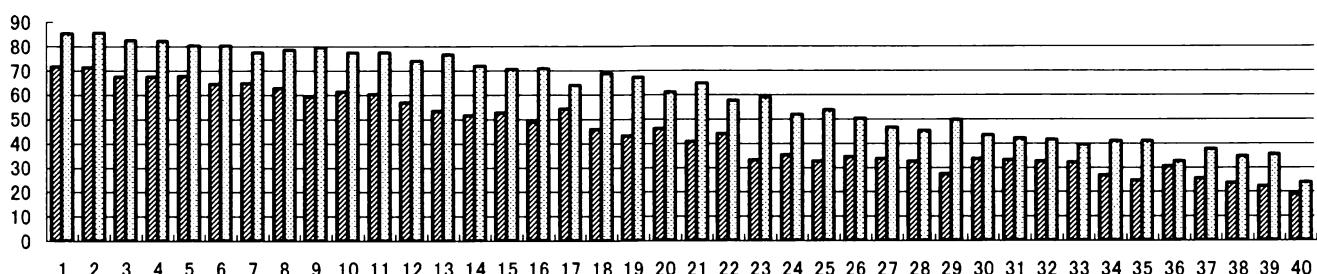


1位	K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき	36.8
2位	K-19. 人生のためになる授業のとき	33.7
3位	K-20. テストでいい点がとれたとき	33.7
4位	K-26. 英語を聴いて意味がわかったとき	30.9
5位	L-4. 外国人うまく英語で話ができたとき	30.9
6位	K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	30.8
7位	K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	30.5
8位	K-1. 授業で習ったことがよくわかったとき	29.4
9位	L-6. 外国に旅行したとき	29
10位	K-16. 外国人の先生に教わったとき	28.6
11位	K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	28.6
12位	K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	27.9
13位	K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき	26.9
14位	K-12. 英語の先生にほめられたとき	26.6
15位	K-22. 文法がわかるようになったとき	24.9
16位	L-2. 外国の音楽を聴いたとき	24.1
17位	K-5. 英語でうまく発表ができたとき	23.8
18位	K-18. 受験のためになる授業のとき	23.1
19位	K-21. テストで悪い点をとったとき	22.3
20位	L-1. 外国の映画やドラマを見たとき	22.1
21位	K-33. 英語の発音がうまくできたとき	19.8
22位	L-5. 外国人うまく話ができなかつたとき	19.5
23位	K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	18
24位	K-3. 授業中に質問され答えられたとき	17.1
25位	K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき	16.1
26位	K-14. きびしい英語の先生に教わったとき	12.8
27位	K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	12.8
28位	K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	12.6
29位	K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	12.6
30位	K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	12.4
31位	K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	11.9
32位	K-8. 授業に緊張感があるとき	11.8
33位	K-23. 文法がわからなかつたとき	11.6
34位	K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	11.3
35位	L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	11.1
36位	K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき	10.9
37位	K-2. 授業で習ったことがよくわからなかつたとき	10.2
38位	K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき	8
39位	K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき	7.4
40位	K-13. 英語の先生にしかられたとき	6.8

全体④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順

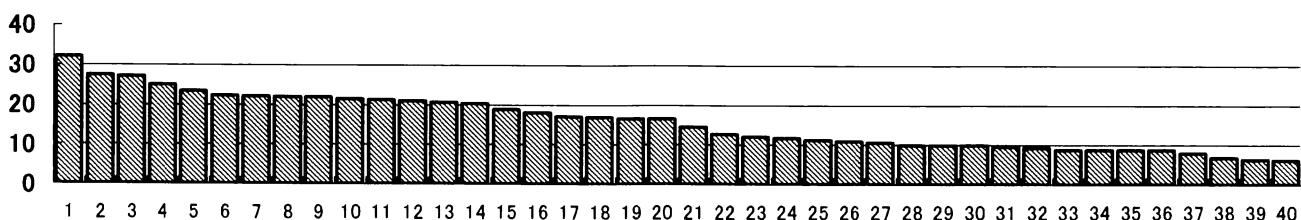


全体男女別の④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順

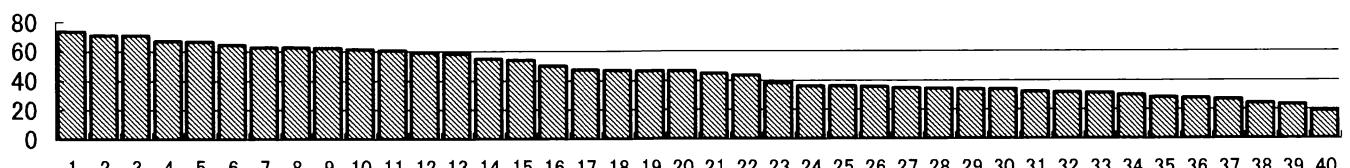


	男	女
1位 K-1. 授業で習ったことがよくわかったとき	71.7	85.3
2位 K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき	71.2	85.6
3位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	67.3	82.5
4位 K-20. テストでいい点がとれたとき	67.3	82.2
5位 K-22. 文法がわかるようになったとき	67.6	80.2
6位 K-26. 英語を聴いて意味がわかったとき	64.4	80.2
7位 K-19. 人生のためになる授業のとき	64.7	77.5
8位 K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	62.6	78.5
9位 K-12. 英語の先生にほめられたとき	59.3	79.5
10位 K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	61.2	77.5
11位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	60.3	77.5
12位 K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき	56.9	74
13位 L-4. 外国人とうまく英語で話ができたとき	53.4	76.5
14位 K-16. 外国人の先生に教わったとき	51.6	71.9
15位 L-2. 外国の音楽を聴いたとき	52.5	70.5
16位 K-5. 英語でうまく発表ができたとき	49	70.7
17位 K-18. 受験のためになる授業のとき	54.1	63.9
18位 L-1. 外国の映画やドラマを見たとき	45.8	68.6
19位 K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	43.2	67.1
20位 K-3. 授業中に質問され答えられたとき	46	61.1
21位 K-33. 英語の発音がうまくできたとき	40.7	64.8
22位 K-21. テストで悪い点をとったとき	43.8	57.6
23位 L-6. 外国に旅行したとき	33.1	58.8
24位 K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかったとき	35.3	51.8
25位 L-5. 外国人とうまく話ができなかつたとき	32.4	53.6
26位 K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	34.5	50.1
27位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	33.6	46.5
28位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	32.6	45.1
29位 L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	27.3	49.8
30位 K-8. 授業に緊張感があるとき	33.5	43.3
31位 K-23. 文法がわからなかつたとき	33	42
32位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	32.5	41.6
33位 K-2. 授業で習ったことがよくわからなかつたとき	32.1	39.5
34位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	26.8	40.9
35位 K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき	24.5	40.9
36位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	30.5	32.6
37位 K-14. きびしい英語の先生に教わったとき	25.5	37.5
38位 K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき	23.6	34.7
39位 K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき	22.2	35.4
40位 K-13. 英語の先生にしかられたとき	19	23.9

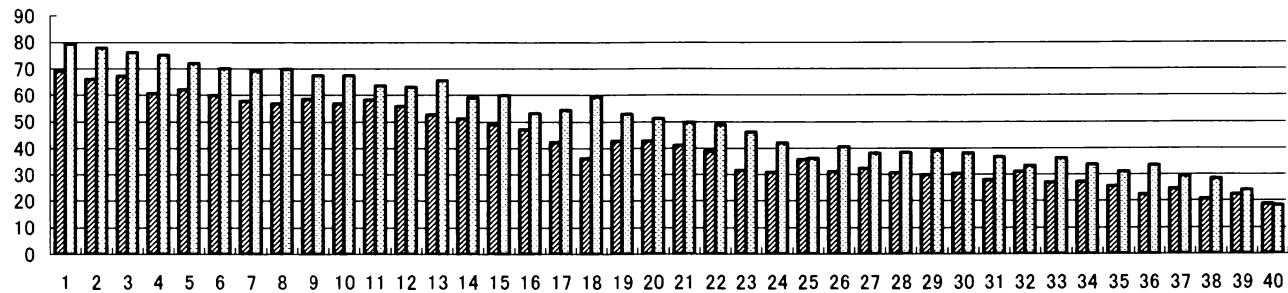
中学⑤「ものすごく勉強する気になった」順



中学④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順

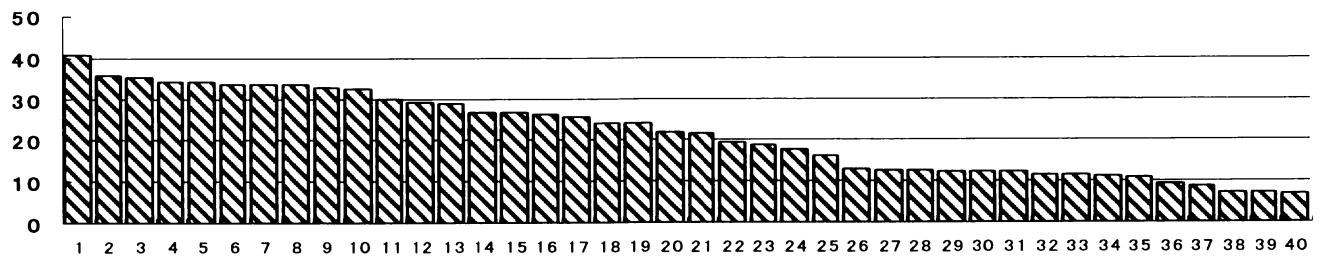


中学男女別の④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順

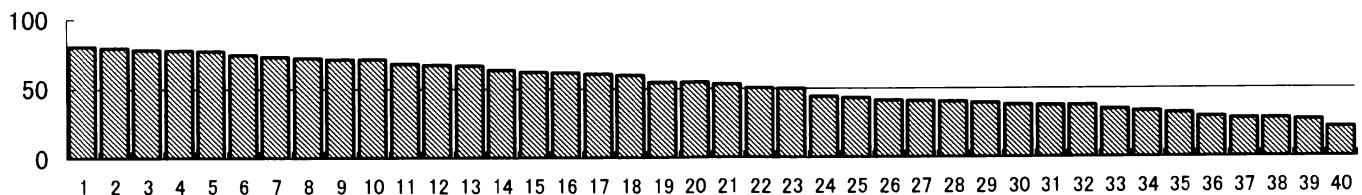


	男	女
1位 K-20. テストでいい点がとれたとき	69	79.3
2位 K-1. 授業で習ったことがよくわかったとき	66	77.7
3位 K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき	67.1	76.1
4位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	60.6	75.1
5位 K-22. 文法がわかるようになったとき	62	71.9
6位 K-18. 受験のためになる授業のとき	59.8	70
7位 K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	57.7	69
8位 K-12. 英語の先生にほめられたとき	56.6	69.8
9位 K-19. 人生のためになる授業のとき	58.3	67.4
10位 K-26. 英語を聴いて意味がわかったとき	56.6	67.4
11位 K-16. 外国人の先生に教わったとき	58.1	63.4
12位 K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	55.8	62.9
13位 K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき	52.6	65.5
14位 L-4. 外国人とうまく英語で話ができるとき	51.2	58.9
15位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	49	59.9
16位 K-5. 英語でうまく発表ができたとき	47.1	53.1
17位 K-33. 英語の発音がうまくできたとき	42.2	54.4
18位 L-2. 外国の音楽を聴いたとき	36.1	59.4
19位 K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	42.6	52.8
20位 K-3. 授業中に質問され答えられたとき	42.7	51.2
21位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならないとき	41.1	49.6
22位 K-21. テストで悪い点をとったとき	38.8	48.8
23位 L-1. 外国の映画やドラマを見たとき	31.4	46.2
24位 K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	30.7	42.1
25位 K-2. 授業で習ったことがよくわからなかつたとき	35.7	36.3
26位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	30.9	40.6
27位 K-23. 文法がわからなかつたとき	32.2	38
28位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	30.5	38.4
29位 K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき	29.7	39.2
30位 K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき	30.3	38
31位 L-6. 外国に旅行したとき	27.8	36.6
32位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	30.9	33.1
33位 K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき	26.8	36.3
34位 K-8. 授業に緊張感があるとき	27	33.7
35位 K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき	25.5	31
36位 L-5. 外国人とうまく話ができるなかつたとき	22.4	33.4
37位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	24.4	29.4
38位 L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	20.5	28.4
39位 K-14. きびしい英語の先生に教わったとき	22.2	24.1
40位 K-13. 英語の先生にしかられたとき	18.7	18.3

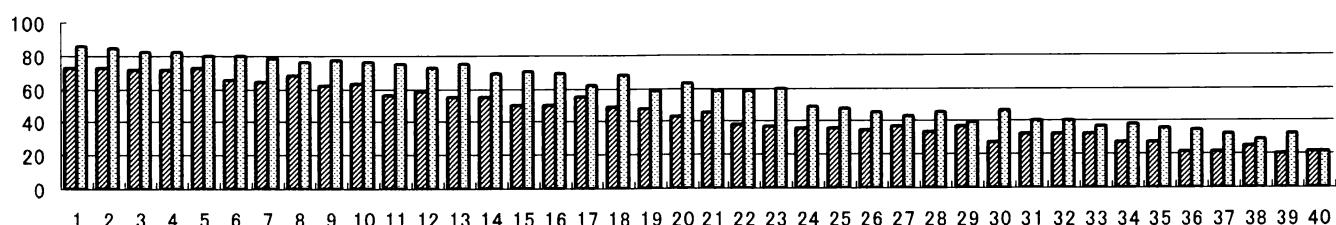
高校⑤「ものすごく勉強する気になった」順



高校④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順

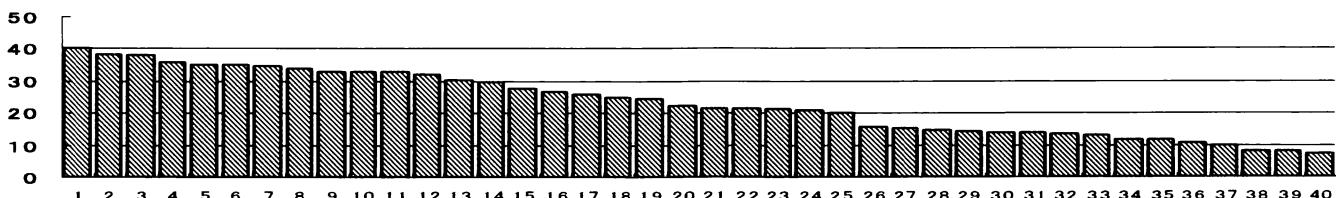


高校男女別の④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順

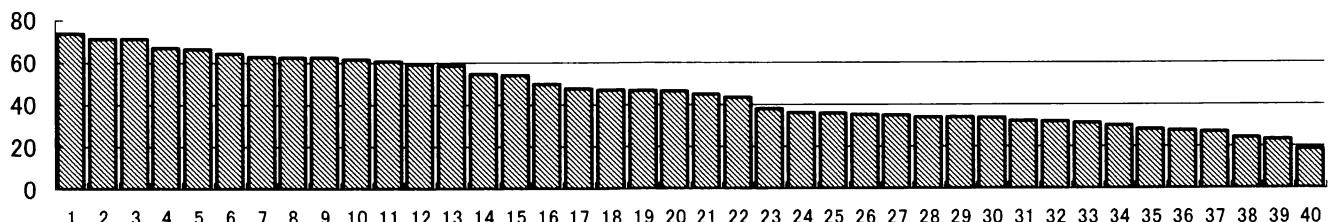


	男	女
1位 K-1. 授業で習ったことがよくわかったとき	72.6	85.7
2位 K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき	72.2	84.3
3位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	71.7	82
4位 K-20. テストでいい点がとれたとき	71.5	81.9
5位 K-22. 文法がわかるようになったとき	72.4	80
6位 K-26. 英語を聴いて意味がわかったとき	66	79.6
7位 K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	64.8	78.7
8位 K-19. 人生のためになる授業のとき	67.3	75.6
9位 K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	61.8	77.7
10位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	63.5	75.9
11位 K-12. 英語の先生にほめられたとき	56.5	75.5
12位 L-2. 外国の音楽を聴いたとき	58.1	72.1
13位 L-4. 外国人とよく英語で話ができたとき	55.2	75
14位 K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき	55.2	68.7
15位 K-5. 英語でうまく発表ができたとき	49.9	70.1
16位 L-1. 外国の映画やドラマを見たとき	49.7	69.1
17位 K-18. 受験のためになる授業のとき	55.2	62.4
18位 K-16. 外国人の先生に教わったとき	48.8	68.4
19位 K-21. テストで悪い点をとったとき	47.6	58.9
20位 K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	42.3	62.7
21位 K-3. 授業中に質問され答えられたとき	45.8	57.8
22位 K-33. 英語の発音がうまくできたとき	38.3	58.7
23位 L-6. 外国に旅行したとき	36.4	59.2
24位 L-5. 外国人とよく話ができなかつたとき	35.7	49.3
25位 K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき	35.9	48.1
26位 K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	35.1	45.2
27位 K-8. 授業に緊張感があるとき	36.6	43.1
28位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	33.5	45.2
29位 K-23. 文法がわからなかつたとき	37	38.7
30位 L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	27.8	47
31位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	32.6	41
32位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	32	40.9
33位 K-2. 授業で習ったことがよくわからなかつたとき	31.7	37.2
34位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	27.3	37.6
35位 K-14. きびしい英語の先生に教わったとき	26.9	35.3
36位 K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき	21.6	34.5
37位 K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき	20.9	32.6
38位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならないとき	25	28.2
39位 K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき	20.2	32.6
40位 K-13. 英語の先生にしかられたとき	21.4	21.4

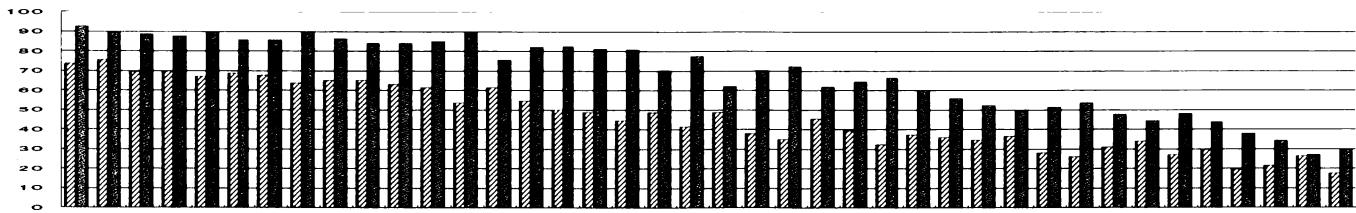
大学⑤「ものすごく勉強する気になった」順



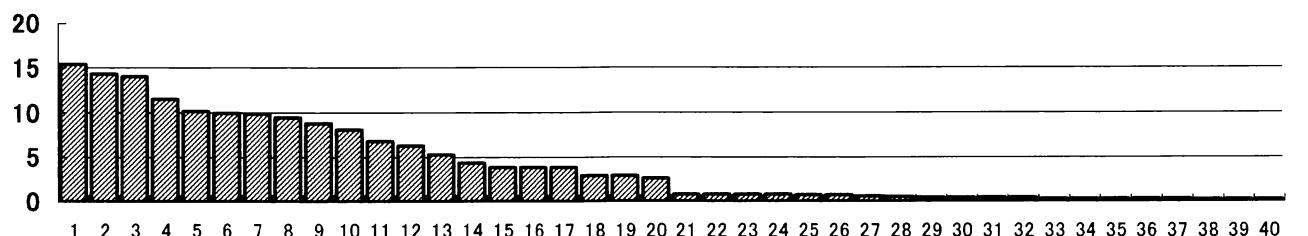
大学④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順



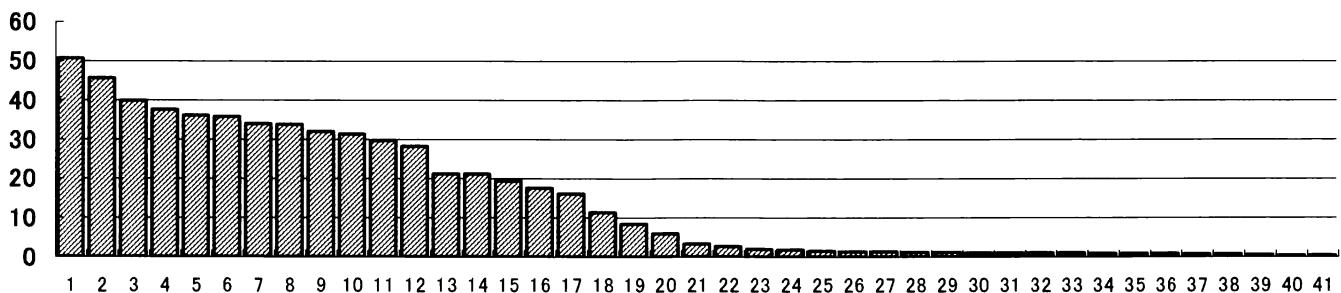
大学男女別の④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計の多い順



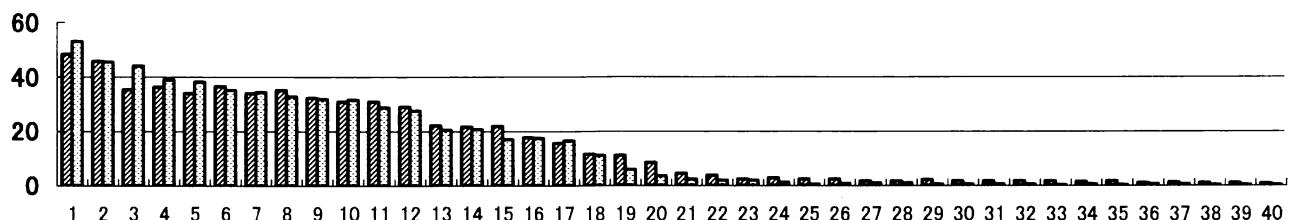
全体①「まったくやる気をなくした」順



全体①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順

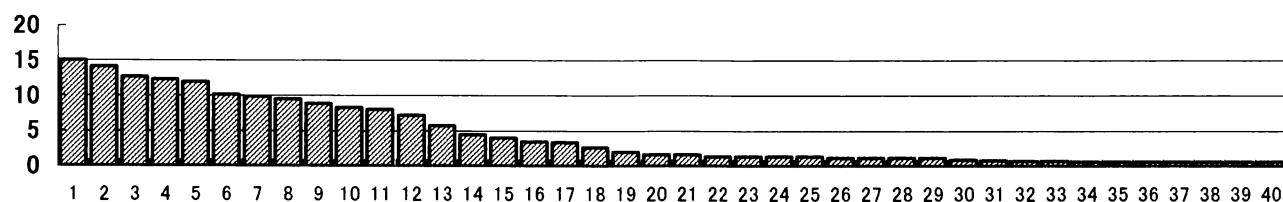


全体男女別の①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順



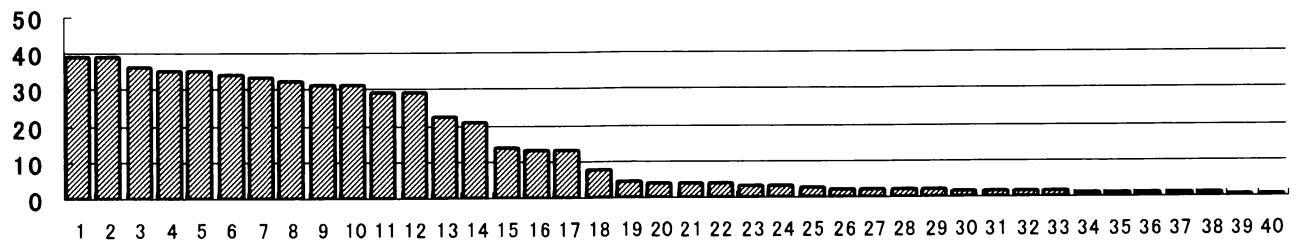
	男	女
1 位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	48.2	53
2 位 K-2. 授業で習つたことがよくわからなかつたとき	45.6	45.5
3 位 K-13. 英語の先生にしかられたとき	35.3	44.1
4 位 K-23. 文法がわからなかつたとき	36.3	38.8
5 位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	33.8	38.2
6 位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	36.4	35.1
7 位 K-14. きびしい英語の先生に教わつたとき	33.8	34.4
8 位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	35.1	32.7
9 位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	32.2	31.8
10 位 K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	30.9	31.6
11 位 K-21. テストで悪い点をとつたとき	30.9	28.6
12 位 K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき	28.9	27.6
13 位 K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき	22	20.4
14 位 K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき	21.7	20.6
15 位 K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき	21.8	17
16 位 L-5. 外国人とうまく話ができなかつたとき	17.7	17.4
17 位 K-8. 授業に緊張感があるとき	15.6	16.4
18 位 K-18. 受験のためになる授業のとき	11.6	11.1
19 位 K-16. 外国人の先生に教わつたとき	11.1	5.9
20 位 L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	8.5	3.5
21 位 K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	4.5	2.2
22 位 K-3. 授業中に質問され答えられたとき	3.7	1.9
23 位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	2.3	1.8
24 位 K-19. 人生のためになる授業のとき	2.8	1.1
25 位 K-12. 英語の先生にほめられたとき	2.4	0.5
26 位 K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき	2.2	0.6
27 位 L-1. 外国の映画やドラマを見たとき	1.6	1
28 位 L-6. 外国に旅行したとき	1.7	0.8
29 位 K-5. 英語でうまく発表ができたとき	2	0.4
30 位 K-15. おもしろい英語の先生に教わつたとき	1.6	0.5
31 位 L-2. 外国の音楽を聴いたとき	1.6	0.5
32 位 K-1. 授業で習つたことがよくわかつたとき	1.5	0.5
33 位 K-33. 英語の発音がうまくできたとき	1.6	0.2
34 位 K-20. テストでいい点がとれたとき	1.3	0.4
35 位 K-26. 英語を聴いて意味がわかつたとき	1.5	0.2
36 位 K-22. 文法がわかるようになったとき	1	0.5
37 位 L-4. 外国人とうまく英語で話ができるとき	1.2	0.3
38 位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかつたとき	1	0.2
39 位 K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	0.8	0.1
40 位 K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	0.6	0.2

中学①「まったくやる気をなくした」順



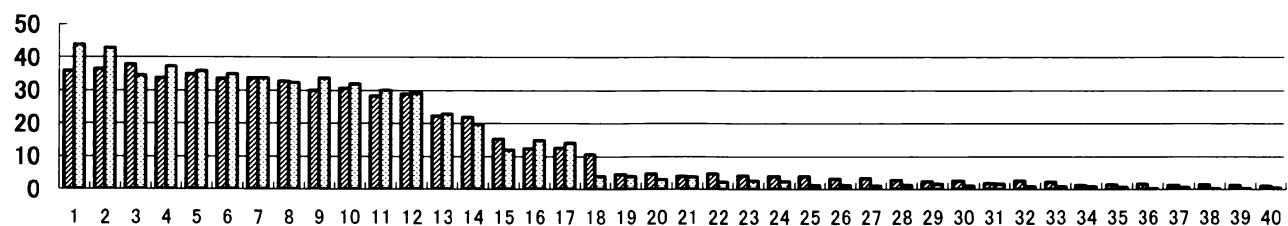
1位 K-14. きびしい英語の先生に教わったとき(SA)	15
2位 K-13. 英語の先生にしかられたとき(SA)	14.1
3位 K-21. テストで悪い点をとったとき(SA)	12.7
4位 K-2. 授業で習ったことがよくわからなかったとき(SA)	12.3
5位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならないとき(SA)	11.9
6位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき(SA)	10.1
7位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき(SA)	9.8
8位 K-23. 文法がわからなかつたとき(SA)	9.5
9位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき(SA)	8.8
10位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき(SA)	8.3
11位 K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき(SA)	8
12位 K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき(SA)	7.2
13位 L-5. 外国人とうまく話ができなかつたとき(SA)	5.7
14位 K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき(SA)	4.4
15位 L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき(SA)	4
16位 K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき(SA)	3.4
17位 K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき(SA)	3.3
18位 K-8. 授業に緊張感があるとき(SA)	2.6
19位 K-12. 英語の先生にほめられたとき(SA)	2
20位 K-3. 授業中に質問され答えられたとき(SA)	1.6
21位 K-16. 外国人の先生に教わったとき(SA)	1.6
22位 K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき(SA)	1.3
23位 K-18. 受験のためになる授業のとき(SA)	1.3
24位 K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき(SA)	1.3
25位 L-6. 外国に旅行したとき(SA)	1.3
26位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき(SA)	1.2
27位 K-19. 人生のためになる授業のとき(SA)	1.2
28位 K-5. 英語でうまく発表ができたとき(SA)	1.2
29位 K-1. 授業で習ったことがよくわかつたとき(SA)	1.2
30位 K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき(SA)	0.9
31位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかつたとき(SA)	0.8
32位 L-2. 外国の音楽を聴いたとき(SA)	0.7
33位 L-1. 外国の映画やドラマを見たとき(SA)	0.7
34位 K-33. 英語の発音がうまくできたとき(SA)	0.6
35位 K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき(SA)	0.6
36位 L-4. 外国人とよく英語で話ができるとき(SA)	0.6
37位 K-20. テストでいい点がとれたとき(SA)	0.6
38位 K-22. 文法がわかるようになったとき(SA)	0.6
39位 K-26. 英語を聴いて意味がわかつたとき(SA)	0.6
40位 K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき(SA)	0.6

中学①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順

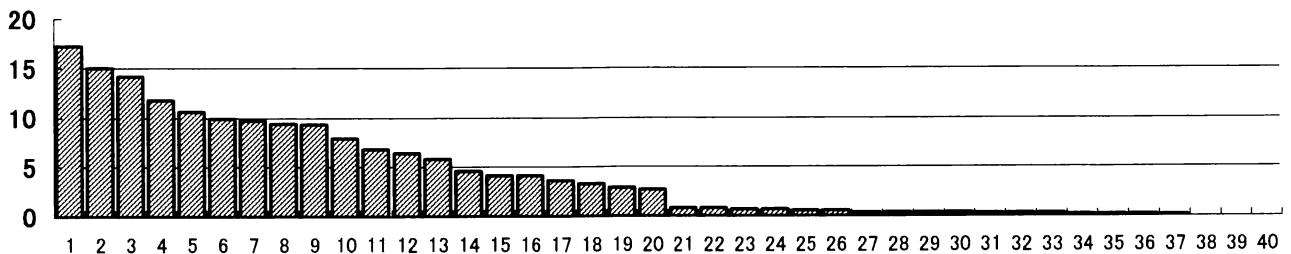


1位 K-13. 英語の先生にしかられたとき(SA)	39.2
2位 K-2. 授業で習ったことがよくわからなかったとき(SA)	39.1
3位 K-21. テストで悪い点をとったとき(SA)	36.3
4位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならないとき(SA)	35.2
5位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき(SA)	35.2
6位 K-23. 文法がわからなかつたとき(SA)	33.9
7位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき(SA)	33.6
8位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき(SA)	32.5
9位 K-14. きびしい英語の先生に教わつたとき(SA)	31.5
10位 K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき(SA)	31.1
11位 K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき(SA)	29
12位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき(SA)	28.9
13位 K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき(SA)	22.4
14位 L-5. 外国人とうまく話ができなかつたとき(SA)	20.8
15位 K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき(SA)	13.8
16位 K-8. 授業に緊張感があるとき(SA)	13.4
17位 K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき(SA)	13.2
18位 L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき(SA)	7.7
19位 K-3. 授業中に質問され答えられたとき(SA)	4.3
20位 K-16. 外国人の先生に教わつたとき(SA)	3.9
21位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき(SA)	3.9
22位 K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき(SA)	3.6
23位 K-18. 受験のためになる授業のとき(SA)	3.5
24位 K-19. 人生のためになる授業のとき(SA)	3.3
25位 K-12. 英語の先生にほめられたとき(SA)	2.8
26位 K-5. 英語でうまく発表ができたとき(SA)	2.4
27位 K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき(SA)	2.3
28位 K-1. 授業で習ったことがよくわかつたとき(SA)	2.1
29位 L-6. 外国に旅行したとき(SA)	2
30位 K-15. おもしろい英語の先生に教わつたとき(SA)	1.8
31位 L-2. 外国の音楽を聴いたとき(SA)	1.7
32位 L-1. 外国の映画やドラマを見たとき(SA)	1.7
33位 K-33. 英語の発音がうまくできたとき(SA)	1.5
34位 K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき(SA)	1.1
35位 L-4. 外国人とうまく英語で話ができたとき(SA)	1.1
36位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかつたとき(SA)	1
37位 K-20. テストでいい点がとれたとき(SA)	0.9
38位 K-22. 文法がわかるようになったとき(SA)	0.9
39位 K-26. 英語を聴いて意味がわかつたとき(SA)	0.8
40位 K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき(SA)	0.8

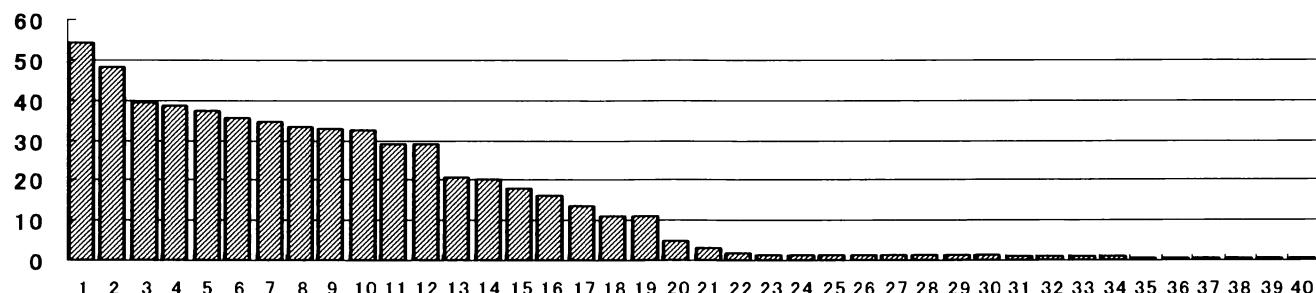
中学男女別の①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順



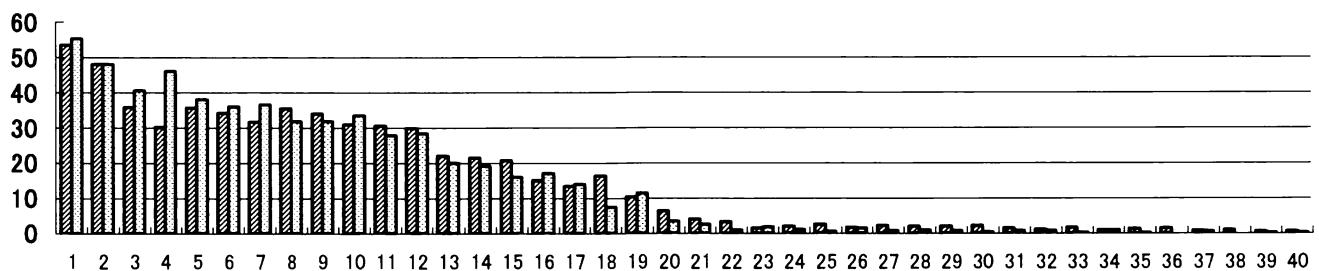
高校①「まったくやる気をなくした」順



高校①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順

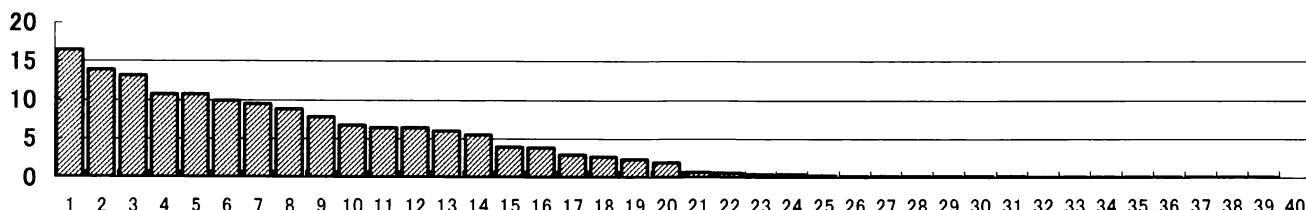


高校男女別の①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順

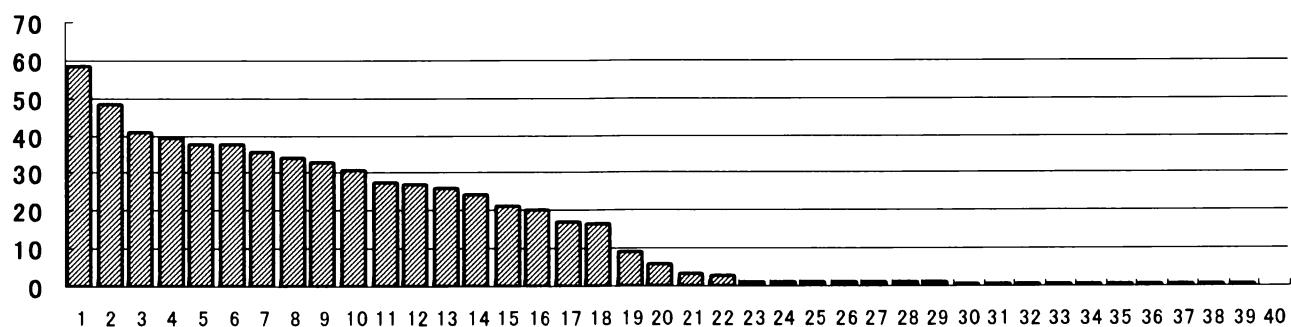


項目番号	項目内容	男	女
1	K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	53.4	55.3
2	K-2. 授業で習ったことがよくわからなかつたとき	48	48
3	K-23. 文法がわからなかつたとき	35.9	40.6
4	K-13. 英語の先生にしかられたとき	30.1	46
5	K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	35.6	38.1
6	K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	34.2	36.1
7	K-14. きびしい英語の先生に教わつたとき	31.7	36.5
8	K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	35.4	31.8
9	K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	34	31.9
10	K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	31	33.4
11	K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき	30.6	27.8
12	K-21. テストで悪い点をとつたとき	29.8	28.3
13	K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき	21.9	19.9
14	K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき	21.4	19
15	K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき	20.7	16
16	L-5. 外国人とうまく話ができなかつたとき	15	17.1
17	K-8. 授業に緊張感があるとき	13.4	13.9
18	K-16. 外国人の先生に教わつたとき	16.4	7.4
19	K-18. 受験のためになる授業のとき	10.3	11.5
20	L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	6.4	3.5
21	K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	3.9	2.5
22	K-19. 人生のためになる授業のとき	3.2	0.8
23	K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	1.4	1.7
24	L-1. 外国の映画やドラマを見たとき	2	1.1
25	K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき	2.5	0.5
26	K-3. 授業中に質問され答えられたとき	1.6	1.4
27	K-12. 英語の先生にほめられたとき	2.2	0.6
28	L-6. 外国に旅行したとき	1.9	0.8
29	L-2. 外国の音楽を聴いたとき	1.9	0.7
30	K-5. 英語でうまく発表ができたとき	2.1	0.4
31	L-4. 外国人とうまく英語で話ができたとき	1.4	0.7
32	K-15. おもしろい英語の先生に教わつたとき	1.1	0.7
33	K-26. 英語を聴いて意味がわかつたとき	1.6	0.2
34	K-20. テストでいい点がとれたとき	0.9	0.8
35	K-1. 授業で習ったことがよくわかつたとき	1.2	0.2
36	K-33. 英語の発音がうまくできたとき	1.4	0
37	K-22. 文法がわかるようになったとき	0.7	0.5
38	K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	0.9	0
39	K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかつたとき	0.5	0.2
40	K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	0.5	0.2

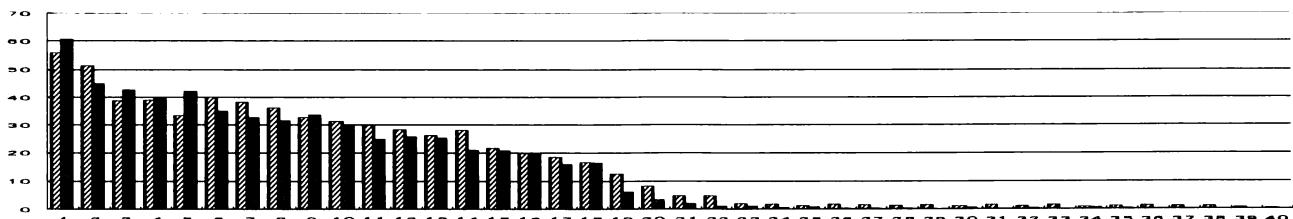
大学①「まったくやる気をなくした」順



大学①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順

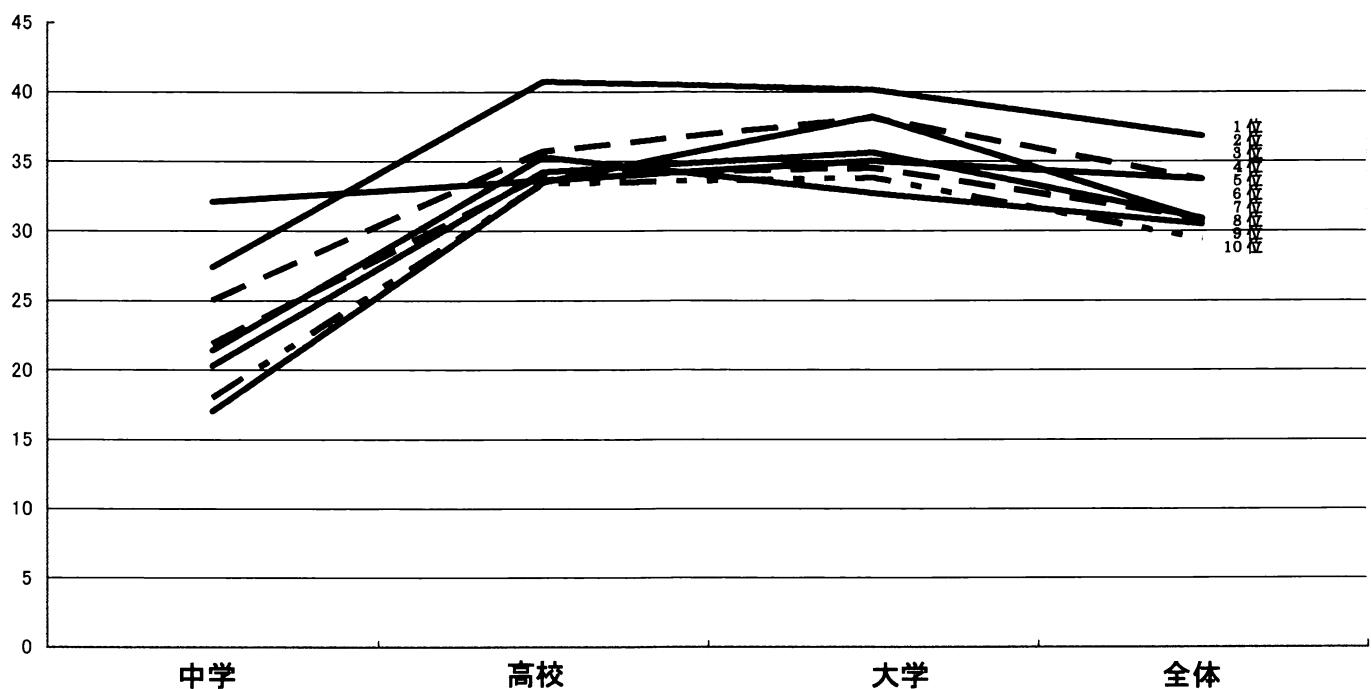


大学男女別の①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順



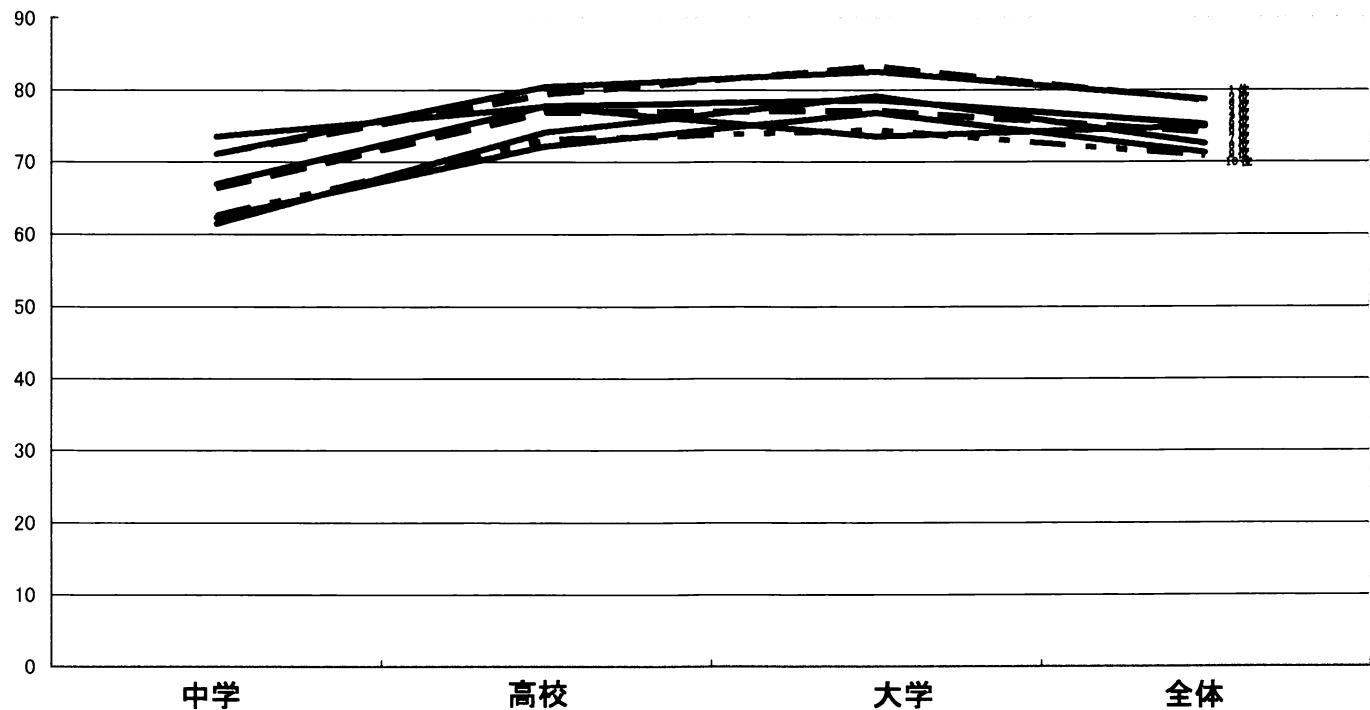
	男	女
1位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	55.8	60.5
2位 K-2. 授業で習ったことがよくわからなかつたとき	51.3	44.7
3位 K-13. 英語の先生にしかられたとき	38.7	42.5
4位 K-23. 文法がわからなかつたとき	38.9	39.2
5位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	33.5	41.9
6位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	40	35
7位 K-14. きびしい英語の先生に教わつたとき	38.2	32.6
8位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	36.2	31.4
9位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	32.6	33.6
10位 K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかつたとき	31.2	29.6
11位 K-11. 授業でたくさん暗唱をしたとき	29.7	24.9
12位 K-31. 英語で言いたいことがうまく言えなかつたとき	28.3	25.7
13位 K-21. テストで悪い点をとつたとき	26.3	25.4
14位 K-9. 授業でたくさんの基本文の口頭練習をしたとき	27.9	20.9
15位 K-34. 英語の発音がうまくできなかつたとき	21.6	20.8
16位 K-8. 授業に緊張感があるとき	19.8	20.1
17位 K-18. 受験のためになる授業のとき	18.3	15.8
18位 L-5. 外国人とうまく話ができなかつたとき	16.5	16.3
19位 K-16. 外国人の先生に教わつたとき	12.5	6
20位 L-3. NHKなどのテレビやラジオの英語教育番組を見たり聴いたりしたとき	8.2	3.1
21位 K-10. 授業の中で自分でたくさん英語を使ったとき	4.5	1.9
22位 K-3. 授業中に質問され答えられたとき	4.5	1
23位 K-19. 人生のためになる授業のとき	1.7	0.9
24位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	1.6	0.5
25位 L-1. 外国の映画やドラマを見たとき	1.2	0.7
26位 K-26. 英語を聴いて意味がわかつたとき	1.6	0.2
27位 K-20. テストでいい点がとれたとき	1.3	0.2
28位 K-7. 授業が楽しい雰囲気だったとき	1.2	0.3
29位 K-33. 英語の発音がうまくできたとき	1.4	0
30位 L-6. 外国に旅行したとき	1	0.4
31位 K-22. 文法がわかるようになつたとき	1	0.3
32位 K-12. 英語の先生にほめられたとき	1.3	0
33位 K-15. おもしろい英語の先生に教わつたとき	1.3	0
34位 K-1. 授業で習つたことがよくわかつたとき	0.7	0.5
35位 L-2. 外国の音楽を聴いたとき	0.9	0.3
36位 K-5. 英語でうまく発表ができたとき	1.2	0
37位 L-4. 外国人とうまく英語で話ができたとき	0.9	0
38位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかつたとき	0.8	0
39位 K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	0.5	0
40位 K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	0.2	0

校種別推移⑤「ものすごく勉強する気になった」



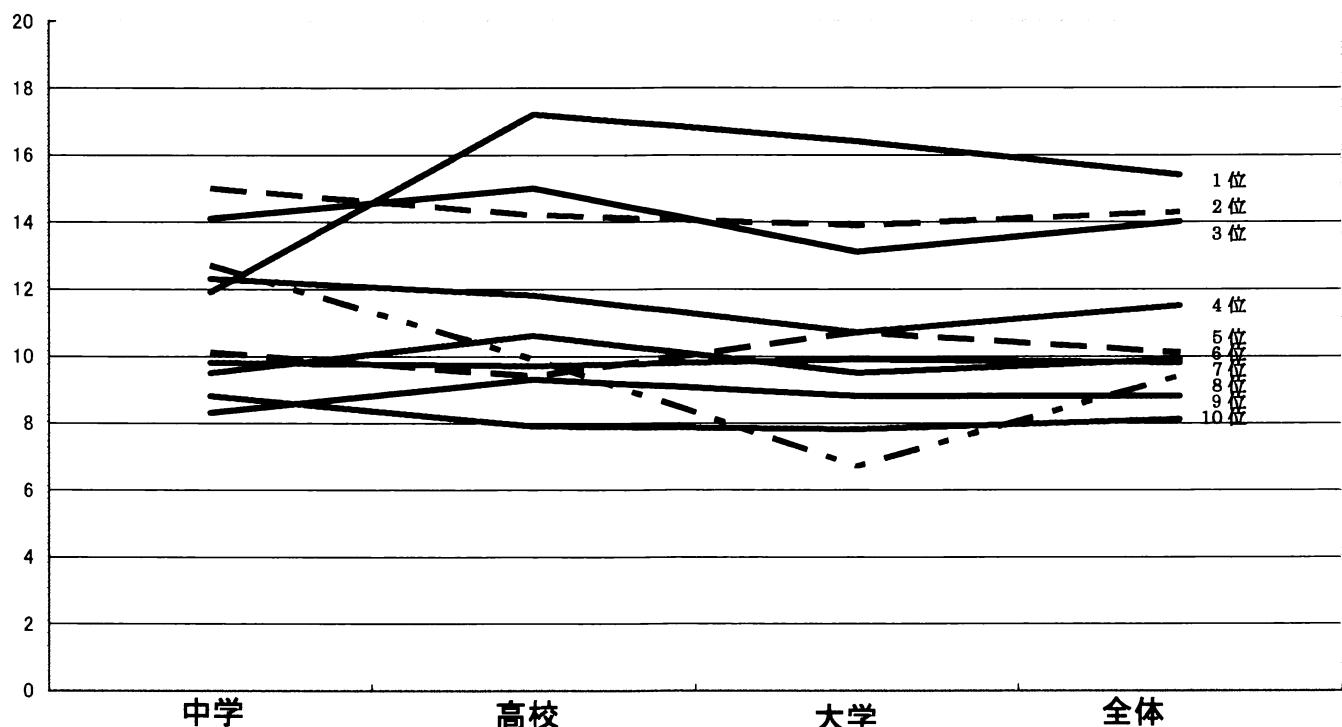
順位	中学	高校	大学	全体
1位 K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき	27.4	40.7	40.1	36.8
2位 K-19. 人生のためになる授業のとき	25	35.7	38.1	33.7
3位 K-20. テストでいい点がとれたとき	32.1	33.6	35	33.7
4位 K-26. 英語を聴いて意味がわかったとき	20.3	34.2	35.6	30.9
5位 L-4. 外国人とうまく英語で話ができるとき	21.9	34	34.5	30.9
6位 K-17. 英語の先生が教科書以外に英語や外国の話をしてくれたとき	17	33.5	38.2	30.8
7位 K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	21.4	35.3	32.7	30.5
8位 K-1. 授業で習ったことがよくわかったとき	18	33.4	33.8	29.4
9位 L-6. 外国に旅行したとき	16.5	32.2	34.9	29
10位 K-16. 外国人の先生に教わったとき	23.4	28.9	32.1	28.6

校種別推移④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計



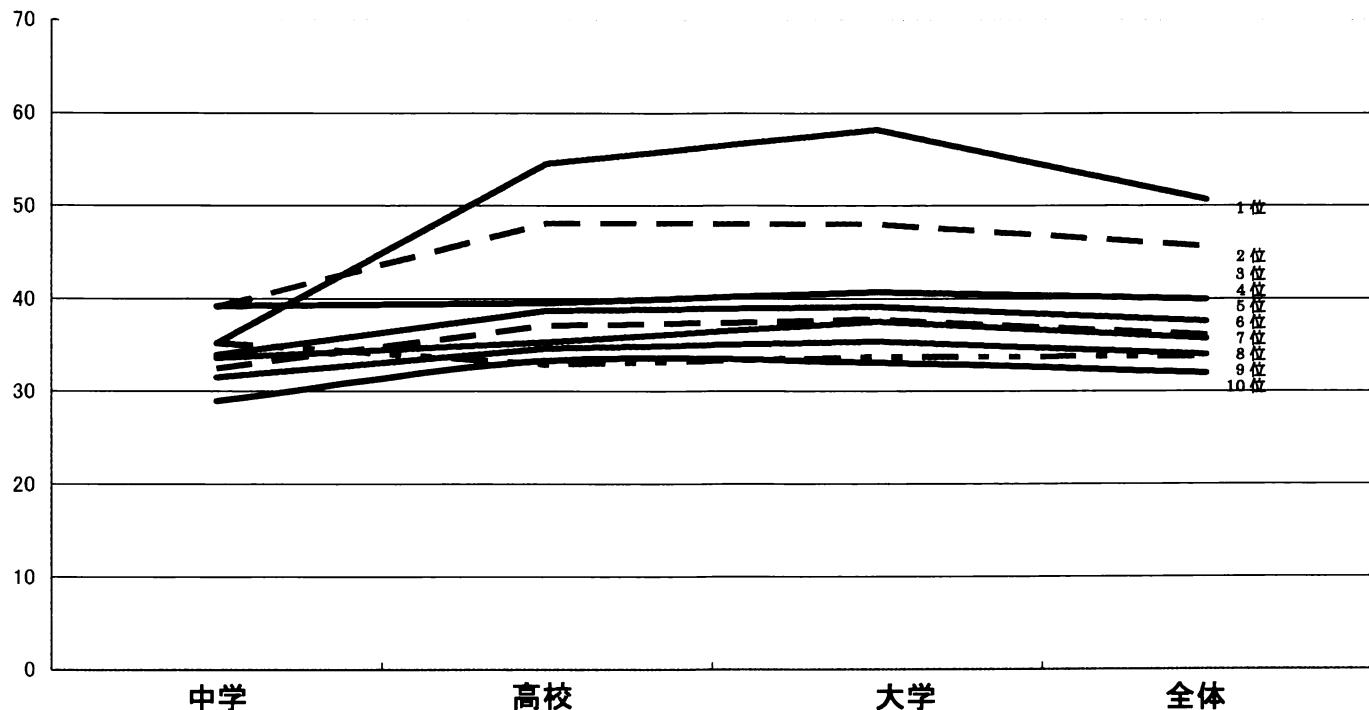
順位		中学	高校	大学	全体
1 位	K-1. 授業で習ったことがよくわかったとき	71.1	80.4	82.5	78.7
2 位	K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき	71.1	79.4	83.2	78.5
3 位	K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	66.9	77.8	78.6	75.2
4 位	K-20. テストでいい点がとれたとき	73.5	77.7	73.5	74.9
5 位	K-22. 文法がわかるようになったとき	66.4	76.9	77.1	74.1
6 位	K-26. 英語を聴いて意味がわかったとき	61.4	74.1	79.1	72.5
7 位	K-19. 人生のためになる授業のとき	62.3	72.2	76.8	71.3
8 位	K-28. 英語で言いたいことがうまく書けたとき	62.6	73.1	74.4	70.8
9 位	K-12. 英語の先生にほめられたとき	62.4	67.7	76.5	69.7
10 位	K-30. 英語で言いたいことがうまく言えたとき	58.9	71.3	75.6	69.6

校種別推移①「まったくやる気をなくした」



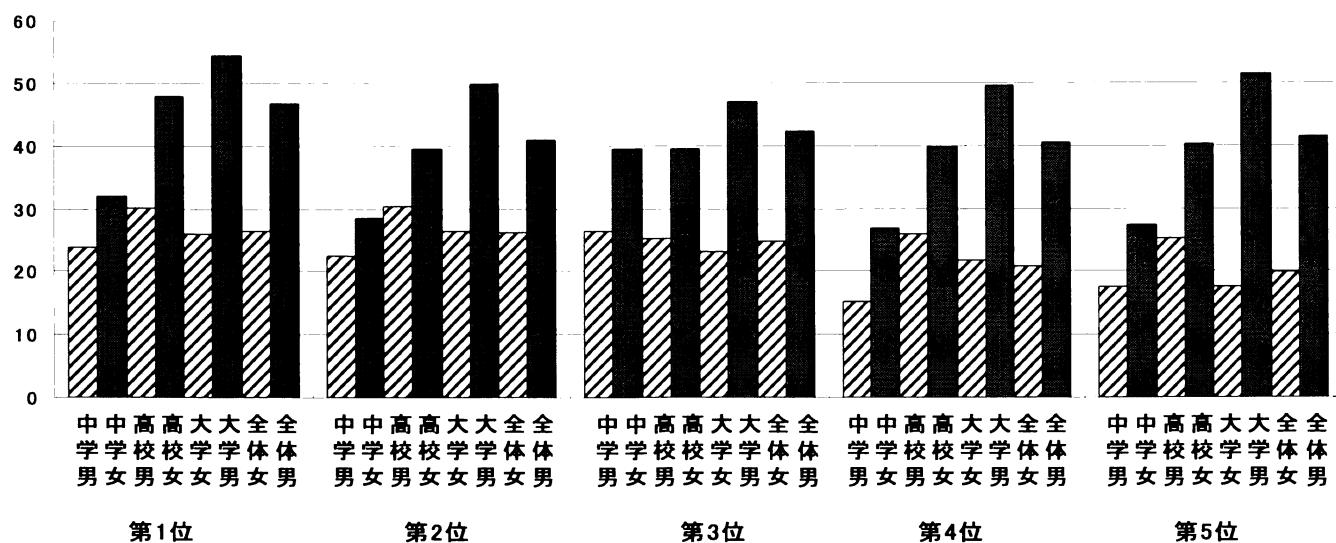
順位	中学	高校	大学	全体
1 位 K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき	11.9	17.2	16.4	15.4
2 位 K-14. きびしい英語の先生に教わつたとき	15	14.2	13.9	14.3
3 位 K-13. 英語の先生にしかられたとき	14.1	15	13.1	14
4 位 K-2. 授業で習つたことがよくわからなかつたとき	12.3	11.8	10.7	11.5
5 位 K-6. 英語でうまく発表できなかつたとき	10.1	9.4	10.7	10.1
6 位 K-23. 文法がわからなかつたとき	9.5	10.6	9.5	9.9
7 位 K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	9.8	9.7	9.9	9.8
8 位 K-21. テストで悪い点をとつたとき	12.7	9.9	6.7	9.4
9 位 K-27. 英語を聴いて意味がよくわからなかつたとき	8.3	9.3	8.8	8.8
10 位 K-4. 授業中に質問され答えられなかつたとき	8.8	7.9	7.8	8.1

校種別推移①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順



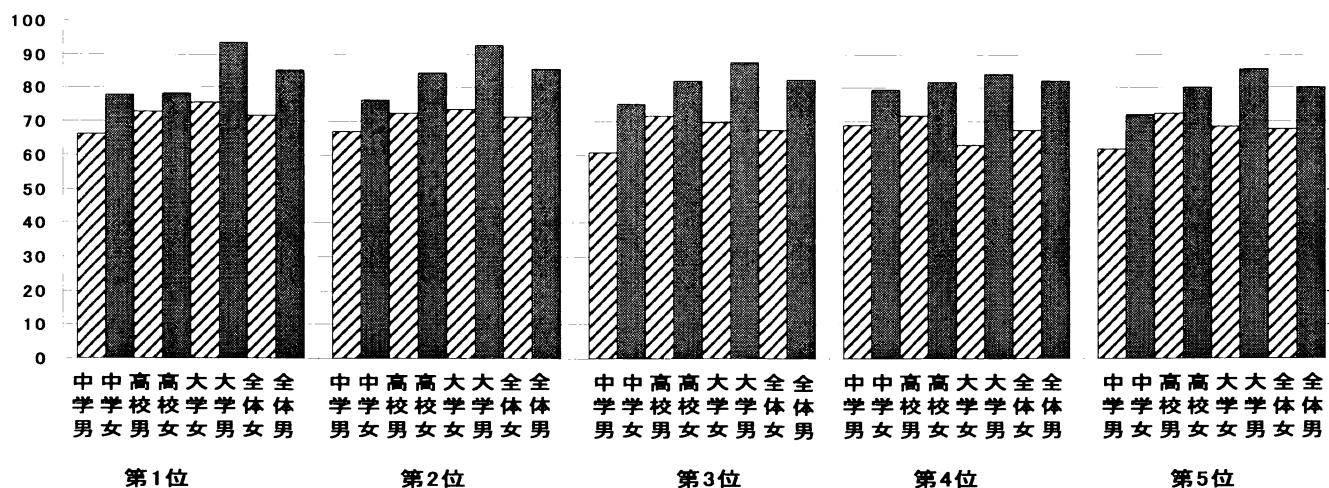
順位		中学	高校	大学	全体
1位	K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならないとき	35.2	54.5	58.2	50.6
2位	K-2. 授業で習ったことがよくわからなかったとき	39.1	48.1	48	45.6
3位	K-13. 英語の先生にしかられたとき	39.2	39.5	40.7	39.9
4位	K-23. 文法がわからなかったとき	33.9	38.7	39.1	37.6
5位	K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかったとき	32.5	37.1	37.7	36.1
6位	K-6. 英語でうまく発表できなかったとき	33.6	35.3	37.5	35.7
7位	K-14. きびしい英語の先生に教わったとき	31.5	34.6	35.4	34
8位	K-4. 授業中に質問され答えられなかったとき	35.2	32.9	33.7	33.8
9位	K-27. 英語を聞いて意味がよくわからなかったとき	28.9	33.3	33.1	32
10位	K-29. 英語で言いたいことがうまく書けなかったとき	31.1	32.4	30.5	31.3

男女別校種別推移⑤「ものすごく勉強する気になった」



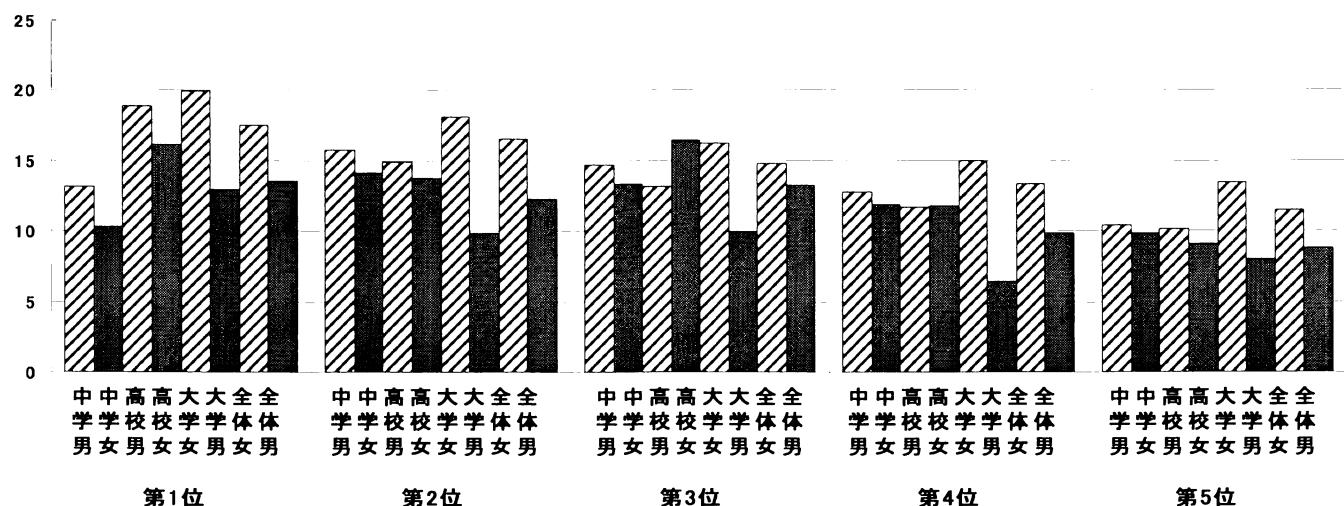
順位		中 学 男	中 学 女	高 校 男	高 校 女	大 学 男	大 学 女	全 体 男	全 体 女
第1位	K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき(SA)	23.7	32.1	30.1	47.9	25.8	54.4	26.4	46.7
第2位	K-19. 人生のためになる授業のとき(SA)	22.4	28.4	30.3	39.4	26.3	49.8	26.2	40.8
第3位	K-20. テストでいい点がとれたとき(SA)	26.3	39.5	25.1	39.4	23	46.9	24.7	42.3
第4位	K-26. 英語を聴いて意味がわかったとき(SA)	15.1	26.8	26	39.8	21.6	49.5	20.8	40.5
第5位	L-4. 外国人とうまく英語で話ができるとき(SA)	17.6	27.3	25.1	40.2	17.6	51.3	19.8	41.4

男女別校種別推移④「少し勉強する気になった」⑤「ものすごく勉強する気になった」の合計



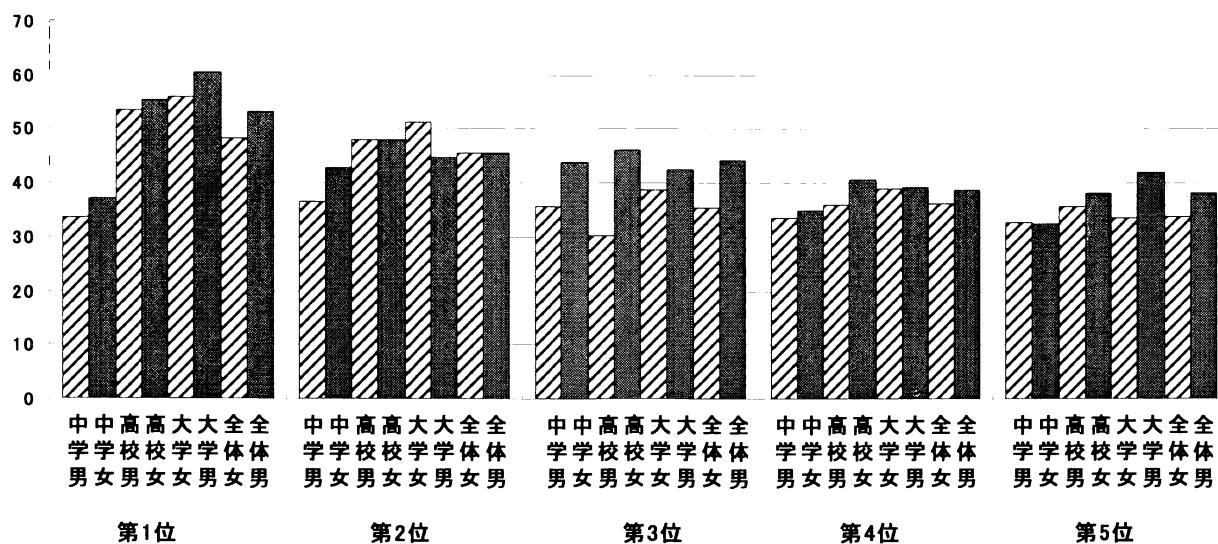
順位		中学男	中学女	高校男	高校女	大学男	大学女	全体男	全体女
第1位	K-1. 授業で習ったことがよくわかったとき(SA)	66	77.7	72.6	78.4	75.5	93.4	71.7	85.3
第2位	K-15. おもしろい英語の先生に教わったとき(SA)	67.1	76.1	72.2	84.3	73.7	92.7	71.2	85.6
第3位	K-24. 英語で書かれたものを読んで内容がわかったとき	60.6	75.1	71.7	82	69.6	87.7	67.3	82.5
第4位	K-20. テストでいい点がとれたとき(SA)	69	79.3	71.5	81.9	62.9	84	67.3	82.2
第5位	K-22. 文法がわかるようになったとき(SA)	62	71.9	72.4	80	68.6	85.5	67.6	80.2

男女別校種別①「まったくやる気をなくした」



順位		中 学 男	中 学 女	高 校 男	高 校 女	大 学 男	大 学 女	全 体 男	全 体 女
第1位	K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならないとき)	13.1	10.3	18.9	16.1	19.9	12.9	17.5	13.5
第2位	K-14. きびしい英語の先生に教わったとき(SA)	15.8	14.1	14.9	13.7	18.1	9.8	16.5	12.3
第3位	K-13. 英語の先生にしかられたとき(SA)	14.7	13.3	13.1	16.4	16.2	9.9	14.8	13.2
第4位	K-2. 授業で習ったことがよくわからなかったとき(SA)	12.7	11.9	11.7	11.8	15	6.4	13.3	9.8
第5位	K-6. 英語でうまく発表できなかったとき(SA)	10.4	9.8	10.1	9	13.4	8	11.5	8.8

男女別校種別推移①「まったくやる気をなくした」②「少しやる気をなくした」の合計の多い順



順位		中 学 男	中 学 女	高 校 男	高 校 女	大 学 男	大 学 女	全 体 男	全 体 女
第1位	K-32. 英語の単語をたくさん覚えなければならぬとき)	33.6	37.1	53.4	55.3	55.8	60.5	48.2	53
第2位	K-2. 授業で習ったことがよくわからなかつたとき(SA)	36.4	42.7	48	48	51.3	44.7	45.6	45.5
第3位	K-13. 英語の先生にしかられたとき(SA)	35.7	43.8	30.1	46.	38.7	42.5	35.3	44.1
第4位	K-23. 文法がわからなかつたとき(SA)	33.4	34.8	35.9	40.6	38.9	39.2	36.3	38.8
第5位	K-25. 英語で書かれたものを読んで内容がわからなかつたとき	32.6	32.3	35.6	38.1	33.5	41.9	33.8	38.2

●あとがき

前報告書である「英語学習意欲を促進する要因—学習者の意識調査とその考察—」では膨大なデータをまずグラフ化してコメントを付け、4つの観点から見た考察を加えた。その報告書作成の時点で、本報告書に載せるべきことが少し見えていたが、報告書の発行が遅れていたので、それらは掲載せずに前報告書の発行となった。そのような経緯から、本報告書と前報告書の二つあわせて一つの報告書にすべきものである。

前報告書については、各都道府県の教育委員会はじめ、教育研究所または教育センターの方にも送付させていただいた。本報告書とあわせて、大学や各種の研究機関、教育委員会はじめ各種の研修会などで活用していただければ幸いである。報告書の残部などについては、「財団法人 言語教育振興財団」へお問い合わせいただきたい。

私たち英語小委員会の研究は、言語教育振興財団の事業の一端を担うものであり、その目標は「コミュニケーション能力の育成を阻害する問題点を克服するための指導法の開発」である。これが3回目の報告書になるのだが、まだ外堀が埋めきっていない感がある。目標が大きいだけに、そこに到達するまでの道のりはまだ遠いと言わざるをえない。

今後とも、研究諸機関の方々や、毎日教室で実際に生徒を前にして英語を教えていらっしゃる方々からのご助言等をいただければ幸いである。

平成18年11月
共同研究委員会英語小委員会幹事　志村　修司

財団法人 言語教育振興財団 助成研究（平成 17 年度）

英語学習意欲を促進する要因（2）

—意識調査の因子分析と項目分析—

共同研究委員会英語小委員会

代 表 小池 生夫（明海大学外国語学部教授・）
慶應義塾大学名誉教授

委 員 醍醐 路子（目黒区立第八中学校副校長）
平出 敏（西東京市立田無第四中学校教諭）
佐藤 留美（東京都立国際高等学校教諭）
志村 修司（東京都立小平高等学校主幹）
倉住 修（白百合女子大学講師）

発 行 平成 18（2006）年 11 月

印刷所 有限会社 タナカ企画
〒228-0021 座間市緑ヶ丘 3-46-12
TEL（046）251-5775

本書の一部あるいは全部を引用または複写複製する場合には、
本書より引用したことをお断りください。

